

保証書 (持込修理)

本書は、本書記載内容(右記載)で、無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品番 Z320B	S/No.
お買い上げ年月日 年 月 日 お買い上げ年月日の記載がない場合、無料修理規定外となります。	
保証期間 対象部分 機器本体(消耗部品は除く) お買い上げの日から1年	
お客様 お名前 様	〒
お客様 ご住所	TEL ()
販売店 店名・住所	上欄に記入または捺印のない場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。
故障内容記入欄	

<無料修理規定>

- 本書記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、製品と本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
- ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合は有料修理になります。
 - 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷
 - お買い上げ後の移動、落下等による故障および損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障および損傷
 - 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障および損傷
 - 故障の原因が本製品以外にある場合
 - 本書のご提示がない場合
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
 - 付属品や消耗品等の消耗による交換
- 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

※本書を紛失しないように大切に保管してください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によつて、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、お客様ご相談センターにお問い合わせください。



バイク用 GPSアンテナ内蔵レーダー探知機

Z320B

取扱説明書

12V車専用 ダウンロード対応



■ 目次

必ずお読みください

- | | |
|-------------------|----|
| 本機の機能について | 2 |
| 安全上のご注意 | 4 |
| 使用上のご注意 | 8 |
| 本書をお読みいただくにあたって | 10 |
| 本機について | 12 |
| 同梱物の確認・各部の名称とはたらき | 14 |
| 別売品のご案内 | 17 |

使用の準備

- | | |
|-----------------|----|
| 取り付け | 18 |
| Bluetooth機器の接続 | 20 |
| microSDカードの出し入れ | 23 |

取締りのミニ知識

- | | |
|----------|----|
| 取締りのミニ知識 | 24 |
|----------|----|

基本的な使い方

- | | |
|-------------------|----|
| 電源を入れる～出発 | 26 |
| 画面表示について | |
| 待受画面 | 30 |
| 各待受画面の説明 | 32 |
| 公開取締情報について | 35 |
| GPSターゲットに接近すると・・・ | 36 |
| 取締りレーダー波を受信すると・・・ | 38 |
| 各種無線電波を受信すると・・・ | 40 |

警報画面について 42

警報ボイスについて 43

各種無線電波について 62

警告させたい地点を登録する(マイエリア) 66

レーダー警報をキャンセルしたい地点を登録する(マイキャンセルエリア) 67

カスタマイズ

- | | |
|----------|----|
| システム設定 | 68 |
| 警報設定 | 72 |
| お好みモード選択 | 76 |
| レーダー設定 | 79 |
| GPS設定 | 80 |
| 無線設定 | 81 |

ity.

- | | |
|----------------|----|
| itx. MAPサービス | 82 |
| itx. データ更新サービス | 85 |

その他

- | | |
|--------------|-----|
| 故障かな?と思ったら | 86 |
| 仕様 | 89 |
| 地図データベースについて | 90 |
| アフターサービスについて | 91 |
| 保証書 | 裏表紙 |

本機の機能について

必ずお読みください

警報 を知る

警報ボイス

GPSデータ10万8千件以上!
取締・検問データ3万5千件以上!
全国マップ上に表示するから正確!

43 ページ

安全!



警報
警告
告知
情報

レーダー波3識別 警報

38 ページ

ステルスです

安心!



警報

公開取締情報

市区町村別でわかる!
情報があるエリアに入ると分かる!
全国地図を使用しているSuper Catだけ!

35 ページ

便利!

ここがポイント▶



無線14バンド識別 警報

40 ページ

取締り無線です

警戒!

警報
警告
告知
情報



ベストパートナー 6識別警報

41 ページ

カーロケ近接受信です

万全!

警報



データ更新プラン

毎月最新のGPSデータに更新!
新たに追加された地点でも安心!
※ ity クラブへの入会が必要です

85 ページ

最新!

ity.

アフターサービスについて

●保証書(裏表紙参照)

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日から1年間です。

●対象部分機器

本体(消耗部品は除く)

●修理をご依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、機種名(品番)、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。

○保証期間中のとき

保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。

保証書の内容に従って修理いたします。

○保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

※点検や修理の際、履歴や登録したデータが消去される場合があります。

※修理期間中の代替機の貸し出しあはありません。あらかじめご了承ください。

ユピテルご相談窓口

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

- 下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
- 電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかげ間違いのないようご注意ください。
- 紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

故障相談や取扱方法などに関するお問い合わせ

受付時間 9:00~17:00 月曜日~金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

お客様ご相談センター



0120-998-036

その他

情報 を知る

業界初 ターゲット フォーカス機能搭載

高速CPU搭載により表示がスムーズ
ターゲットの位置が分かりやすい！

36 ページ



業界最多「実写警報 REALPHOTO」

42 ページ

全国4000件以上の実写収録



デュアルパッチ アンテナ搭載

※デュアルパッチアンテナ搭載により
取り付け角度の自由度がアップ。



オービスロケーション ガイド機能搭載

“この先の〇〇交差点を
通過して〇〇〇メートル先
ループコイルです”

75 ページ

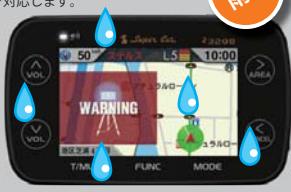
親切！



JIS IPx7 準拠 防浸形対応

※カバーをきっちりと閉じた状態、またプラグなどが
ゆるんでない状態で対応します。

雨!!



Bluetooth 対応

20 ページ

※対応ヘッドセット(HD-BT1/HD-BT3)が
別途必要です。

便利！



安全上のご注意

つづく

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用する方への危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告：この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

⚠ 注意：この表示は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

絵表示について

 この記号は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

 この記号は、してはいけない「禁止」内容です。

 この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

 この記号は、関連するページを示します。

● 安全上お守りいただきたいこと

⚠ 警告

 异物が入ったり、水に浸かったり、煙が出ている、変な臭いがする等、異常な状態のまま使用しないでください。発火の恐れがありますので、すぐに使用を中止して、修理をご依頼ください。

 万一、破損した場合は、すぐに使用を中止する。そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。

 サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しないでください。感電や故障の原因となります。内部点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。

 穴やすき間にピンや針金等の金属を入れないでください。感電や故障の原因となります。

 破裂、発火や火傷の原因となりますので、本機を火の中、電子レンジ、オーブンや高圧容器に入れないでください。また、本機を加熱したりしないでください。

 本機を次のような場所に長期間保管しないでください。変色したり、変形したり、故障の原因となります。

- ・直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所
- ・湿気やほこり、油煙の多い所

 本機の分解や改造は絶対にしないでください。火災、感電、故障の原因となります。また誤作動、不具合が生じた場合、当社は一切の責任を負いません。走行中に落下等で、運転の支障となり、交通事故やけがの原因となります。

 本機をバイクで使用される時の電源はDC12V（マイナスアース）車専用です。これ以外の接続は故障や火災の原因となります。

 走行中は運転者による操作、画面の注視をしないでください。操作する場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。交通事故やけがの原因となります。

 本機をバイクのバッテリーに直接接続しないでください。故障や火災の原因になります。

 取り付け、取り外しは安全な場所に停車してから行ってください。交通事故やけがの原因となります。

 走行前にしっかり固定されていることを確認してください。交通事故やけがの原因となります。

⚠ 注意

 気温の低いところから高いところへ移動すると、本機内に結露が生じことがあります。故障や発熱などの原因となりますので、結露したまま使い続けないでください。

 本機の外装を清掃する場合は水や溶剤は使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。内部に異物が入った場合は使用を中止し、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

 落としたり、強いショックを与えない。破損、故障の原因となります。

 各端子に異物が入ると、故障の原因となることがありますので取り扱いにご注意ください。

 ベンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。塗装面を傷めます。

 濡れた手で操作しないでください。感電の原因となります。

 本体に必要以上に力を加えないでください。破損や故障の原因となります。

 本製品は防浸型対応となっていますが、洗車時には本製品を外して洗車してください。

 スピーカーユニットを不適切な位置に取り付けると、振動や転倒時に耳が負傷することがありますので、適切な位置に取り付けてください。

 ヘルメットの改造は絶対にしないでください。

 本機は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。

 本機は精密機械です。静電気/電気的ノイズ等でデータが消えることがあります。データが消えると作動しません。

● 電源コードについて

⚠ 警告

- ! 電源直結コードは確実に差し込んでください。接触不良を起こして火災の原因となります。
- ! 指定以外のヒューズは使用しないでください。指定以外のヒューズを使用すると異常過熱や発火の原因となります。ヒューズは必ず同一の定格のものと交換してください。
- ! お手入れの際は、電源直結コードを抜いてください。感電の原因となります。
- ! 電源直結コードは単独で使ってください。タコ足配線や分岐して接続すると、異常加熱や発火の原因となります。
- ! 電源直結コードのマイナス端子、プラス端子の汚れはよく拭いてください。接触不良を起こして火災の原因となります。
- 🚫 指定された電源電圧車以外では使用しないでください。火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。
- 🚫 コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。故障や感電の原因となります。

⚠ 警告

- ! 取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、バイクの操作（ブレーキ、ハンドル等）の妨げにならない場所に取り付けてください。誤った取り付けは、交通事故の原因となります。
- ! プラケットのネジがゆるむと、本機が外れて落下する可能性がありますので、ネジの緩みは定期的に確認してください。
本機固定用ネジの締め付けトルクは $0.1\text{kgf}\cdot\text{m} \sim 0.15\text{kgf}\cdot\text{m}$ を目安に締め付けてください。

⚠ 警告

- ! 心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用のお客様は、医療用機器への影響を医療用電気機器製造業者や担当医師にご確認ください。
- 🚫 急発進したり急ブレーキをかけないでください。安全運転上、大変危険です。また本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

⚠ 警告

- ! マジックテープ貼り付け位置は、汚れ・ホコリを十分に落してください。マジックテープの粘着力を弱め、本機が脱落する恐れがあります。

⚠ 注意

- ! バイクから離れるときや使用しないときは、電源を切ってください。

⚠ 警告

- ! 画面を強く押したり、先の鋭いもので押さないでください。タッチパネルが割れて、けがの原因となります。

● 周波数・電波干渉について

⚠ 警告

- ! この製品は2.4GHz帯の周波数を使用しています。この周波数帯は、産業・科学・医療関係機器、各種無線局や無線LANなど（以下「他の無線局」）にも使用されています。
ご使用中に「他の無線局」との電波干渉が発生した場合は、ご使用場所を変更するか、本機の使用を中止（電波の発信を中止）してください。

使用上のご注意

必ずお読みください

- 本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。
- 電波の透過率が低いガラス(金属コーティングの断熱ガラスなど)の場合、電波が受信しにくくなり、GPS測位機能(☞12ページ)が、はたらかない場合や、取締レーダー波の探知距離が短くなる場合があります。

表示部

- ・表示部を強く押したり、衝撃を与えないでください。表示部の故障や破損でケガの原因となります。
- ・サングラス等を使用時に、偏光特性により液晶表示が見えなくなってしまうことがあります。あらかじめご了承ください。
- ・周囲の温度が極端に高温になると表示部が黒くなる場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり故障ではありません。周囲の温度が動作温度範囲内になると、元の状態に戻ります。

取り付け(☞18ページ)に関する注意

- ・本機を運転に支障をきたす場所に置いたり、取り付けたりしないでください。
- ・GPS衛星からの電波やレーダー波を受信しやすくなるため、障害物や遮へい物のない視界の良い場所に取り付けてください。
- ・他の機器のアンテナの近くや、金属など障害物の陰にならない場所に取り付けてください。
- ・本機あるいは電源直結コードが、ハンドルやブレーキ、クラッチレバーなどにあたったり、はさまれないようにしてください。
- ・レーダー/無線アンテナ部が進行方向に取り付けていないと、Gセンサーが正しく動作しないことがあります。

電源直結コードに関する注意

- ・電源直結コードは、必ず付属のものをご使用ください。

- ・電源直結コード内部には、ヒューズとスプリングが入っています。ヒューズが切れた場合は、部品の紛失に注意し、市販の新しいヒューズ(1A)と交換してください。
なお、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、使用を中止し、電源直結コードを抜いて、お買い上げの販売店、または、お客様ご相談センターにご相談ください。(☞91ページ)

レーダーアラーム(☞38ページ) に関する注意

- ・走行環境や測定条件などにより、取締リーダー波の探知距離が変わることがあります。
- ・狙い撃ちの取締り機(ステルス型取締り機)は、計測する瞬間だけ電波を発射するため、受信できなかったり、警報が間にあわない場合があります。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。(☞25、39ページ)
- ・レーダー波を使用しない速度取締り(光電管式など)の場合、事前に探知することができませんので、あらかじめご了承ください。(☞24ページ)

GPS測位機能(☞12ページ) に関する注意

- ・本機を初めてご使用になる場合は、GPS測位が完了するまで20分以上時間がかかる場合があります。
- ・車載TVをUHF56チャンネルに設定していると、GPS測位できない場合があります。UHF56チャンネル受信周波数が障害電波となり、GPS受信に悪影響を与えるためです。
- ・新たに設置されたオービスなどのターゲットは、GPS警報できませんのであらかじめご了承ください。
- ・GPS警報の左右方向識別ボイス(☞43ページ)は、告知時点でのターゲット方向であり、右車線、左車線を示す訳ではありません。

無線14バンド受信機能(☞40ページ) に関する注意

- ・カーオーディオやカーナビ、カーエアコン、ワイヤー、電動ミラーなどのモーターノイズにより、反応する場合があります。あらかじめご了承ください。

- ・本機は、受信した音声を聞くことができる交信音声受信機能(復調)を搭載しておりますが、デジタル方式や、デジタル信号での通信は、受信しても内容はわかりません。また、各無線交信は、数秒間で終わることが多いため、交信内容を完全に聞き取ることができない場合もあります。
- ・カーロケーターシステムは、全国的に新システムへの移行が進んでいます。現在は受信可能な地域であっても今後、新システムへの移行により受信できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。新システムが導入された地域や、新システムに移行した場合、カーロケ無線の警報や、ベストパートナー6識別(☞41ページ)は、はたらきません。

画面表示に関する注意

- ・GPS測位が完了するまでは、「測位情報」を表示し、GPS測位すると設定した待受画面を表示します。
- ・日付および時刻は、GPS測位により自動的に設定され、日付や時刻合わせの操作は不要です。(測位状況により日付や時刻が合わないことがあります。)
- ・時刻の表示は、24時間表示です。12時間表示に変更することはできません。
- ・走行速度やGPSターゲットまでの距離、自車アイコンは、GPSやGセンサー、バーチャルポジショニングシステムにより計測し表示させています。状況によっては実際と異なる場合もあります。
- ・車両の速度計は、実際より数値が高く表示される(プラス誤差)傾向があります。
- ・渋滞や低速走行時(発進直後を含む)は、速度表示を正しく表示しないことがあります。

- ・画面右上の時計表示は、GPS測位中と電源ON直後の測位完了までの間赤色で表示し、測位すると白色(マップ画面では黒色)に変わります。一度測位したあと、トンネルなどで測位できない状況になると赤色表示に変わり、再度測位すると白色(マップ画面では黒色)表示に戻ります。(☞26ページ)

microSDカード(☞23ページ) に関する注意

- ・付属品のmicroSDカードは、本機専用でご使用ください。
- ・microSDカードの出し入れは、本機の電源をOFFにした状態で行ってください。
- ・microSDカードは一方向にしかなりません。無理に押し込むと、本機やmicroSDカードが壊れることがあります。
- ・本機にmicroSDカードが入っていないと、本機は起動しません。必ず付属品のmicroSDカードを挿入してお使いください。

取り扱いに関する注意

- ・本機に強い衝撃を与えると、破損したり故障の原因となります。
- ・本機を装着した状態でのヘルメットの脱着は、本機に無理な力がかからないようにしてください。破損や故障の原因となります。
- ・走行中に本機が外れて落下しないように、本機は確実に取り付けてください。
- ・電源直結コードやスピーカーユニットのコネクターは、しっかりと差し込んでください。防水性能が損なわれる場合があります。また、コネクターを抜き差しする時は、コネクタープラグ部を持って抜き差してください。ケーブル部を引っ張ると破損する場合があります。

- ・自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・説明書に記載の使用方法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負いません。
- ・本製品の取り付けによるバイク、ヘルメットの変色・変形(跡が残る)に関し、当社では補償いたしかねます。

必ずお読みください

本書をお読みいただくにあたって

必ずお読みください

- 本書はすぐに本機をご使用いただくための基本的な手順と、ご使用に伴って機能をカスタマイズしたい場合の手順を分けて記載しています。

必ずお読みください P.2

使用の準備 P. 18

取締りのミニ知識 P. 24

基本的な使い方 P. 26

カスタマイズ P. 68

ity. P. 82

その他 P. 86

レーダー探知機を初めて使う場合は、この部分をお読みください。

機能のカスタマイズが必要な場合は、こちらもお読みください。

ity. マップサービスと ity. データ更新サービスのご案内です。

「故障かな？と思ったら」が記載されています。例外的な手順はこちらをお読みください。

●説明のために差し支えない部分において、該当以外の機種のイラストを使用している場合があります。

●本書で使用している画像は、実際の画面とは見えかたが異なる場合があります。

●本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

本書内には説明のために、以下の各種アイコンが記載されています。



実際にタッチしていただくボタンと、次に進む方向を表しています。



用語の解説を行います。



本機をうまくお使いいただくためのアドバイスです。



他のページへ読み進んでいただくときに表示します。



お買い上げ時の初期設定を表しています。



画面表示のみのサイレント警報をする場合に表示します。注意度の低いターゲットを画面表示のみで警告/お知らせします。不要なボイスが流れませんので、運転を妨げません。



ボイス警報をする場合に表示します。



左右方向識別ボイスが流れる場合に表示します。



オービス 5段階警報をする場合に表示します。

本機について

必ずお読みください

GPS測位機能について

GPS(Global Positioning System)とは、衛星軌道上の人工衛星から発信される電波により、緯度・経度を測定するシステムです。

カーナビでお馴染みのこのシステムを利用して、取締りレーダー波を発射しないループコイル、LHシステムのオービス(無人式自動速度取締り装置)にも警報します。

また、固定設置式のオービスだけでなく、交通監視システムやNシステム、そして、過去に取締りや検問が行われていた場所など、52種類のターゲットを識別してお知らせします。[GPS52識別]

Gセンサー&VPS

GPS・Gセンサーで、自車の進行状態を検知して、ルートのずれを補正します。

GPS非測位時には、VPS(バーチャルポジショニングシステム)が行う進行距離計算にGセンサーからの加減速変化を加えることによって、より高精度な警告をすることができます。

クイック測位

前回電源をOFFにした時刻と自車位置情報を基に、GPS衛星位置を予測し、現在の自車位置情報をすばやく測位することができます。

GPS-EX

弱信号捕捉技術により、感度が大幅に向上した超高感度GPSモジュールを採用。今まで警報しなかった高架下などの弱信号環境でも途切れにくい動作を可能にし、警報できるようになりました。



<Gセンサー&VPS>により、GPS電波の受信状態が良くない場所でも、高精度な警報を行うことが可能となり、また<クイック測位>により測位までの時間が大幅に短縮されて、地下駐車場から地上(測位可能範囲)に出た直後などでも、付近のオービスや取締ポイントの警報を行うことができます。

※次の場合、クイック測位は機能しません。

- ・最後に本機の電源をOFFにしてから48時間以上経過した場合。
- ・最後に本機の電源をOFFにした時と、次に電源をONにした時のGPS衛星の状況が異なる場合。
- ・GPS波を妨害する電波の影響を受ける場所で本機の電源をONにした場合。

受信可能な電波

取締りレーダー波のX・KツインバンドとGPSの3バンドの他に、無線14バンド受信をプラスし、17バンド受信ができます。

GPS + Xバンド
Kバンド + 無線14バンド = **17**
BAND

◆トンネル内の警報・警告

本機は、GセンサーおよびVPSにより、GPSの電波を受信できないトンネル内のオービスや取締エリアをお知らせします。

●トンネル内オービス3段階警報

トンネル内のオービスから約2km(高速道のみ)/1km/500m手前の最大3段階でお知らせします。

●トンネル内追尾式取締エリア警告

トンネル内の追尾式取締エリア登録ポイントから約1km手前とエリアに入ったときにお知らせします。

●トンネル出口直後ネズミ捕りエリア警告

トンネル出口直後のネズミ捕りエリア登録ポイントから約1km手前とエリアに入ったときにお知らせします。

●トンネル出口ターゲット警報

トンネルの出口付近に設置されているターゲット(オービスなど)に対し、トンネル入口の手前約500mと直前の2カ所(※)で警報します。

※ GPSの受信状況やGセンサーの動作状況、または地理的な状況によっては、1カ所のみの警報になります。

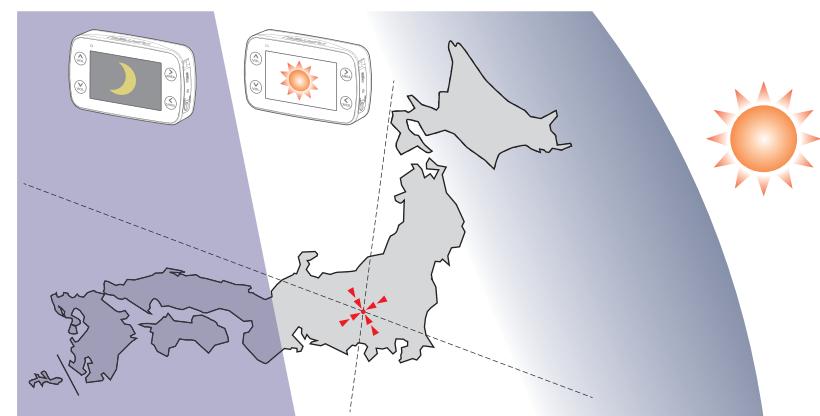
●高速道識別ボイス

ターゲットが高速道に設置されている場合、『高速道』とボイスでお知らせします。

画面の明るさ調節(フレックスディマー)

夜間は、画面表示の明るさを抑え、眩しさを防ぎます。

GPSの位置・時刻情報により、それぞれの地域および季節に応じ、日の出、日の入りを計算し自動的に画面表示の明るさを調整します。



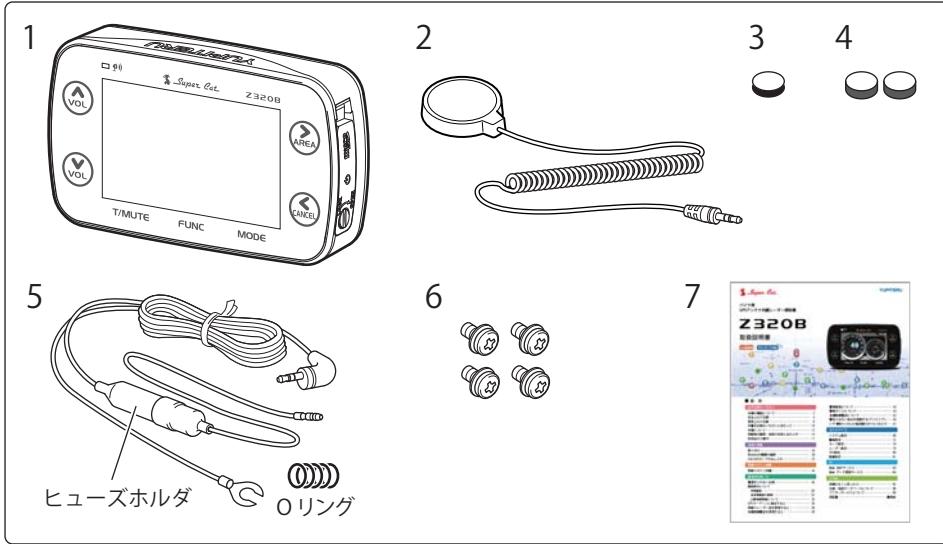
※図は説明のためのイメージです。実際の画面の明るさとは異なります。

同梱物の確認・各部の名称とはたらき

つづく

同梱物の確認をしてください

製品には万全を期しておりますが、欠品等ございましたら、お買い上げの販売店にお申し付けください。

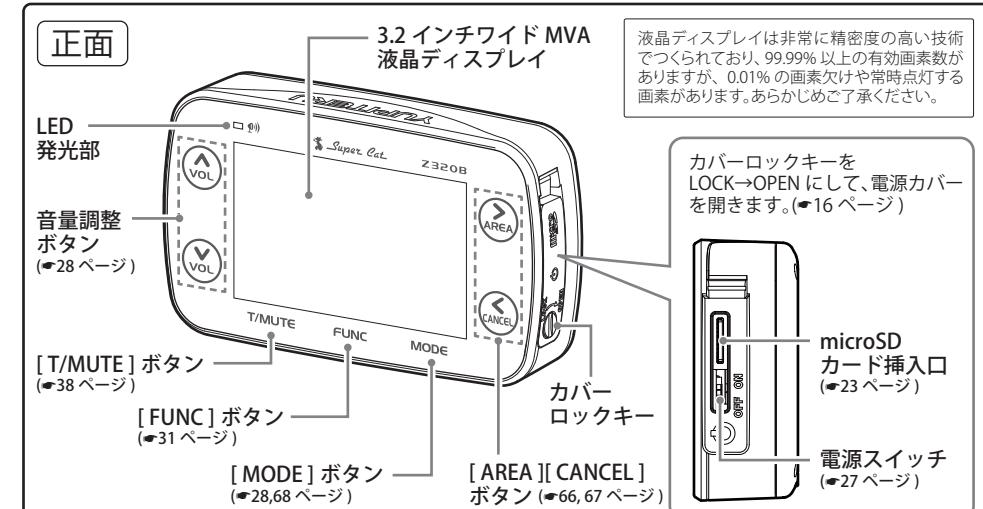


番号	名称	説明
1	本機	Z320B本機です。
2	スピーカーユニット(コード長約75cm)	本機の警告、音声を聞くために使用します。
3	マジックテープ	スピーカーユニットをヘルメットに取り付ける際に使用します。
4	スペーサー(2個)	スピーカーユニットをヘルメットに取り付ける際に、付属品のマジックテープで足りない場合に使用します。
5	電源直結コード(コード長約3m) (Oリング5個)	本機にバイクから電源を供給するのに使用します。交換用のOリングが付属しています。
6	本機固定用ネジ(4個)	本機を社外プラケットなどに固定するのに使用します。(固定用2個、予備2個)(締め付けトルク0.1kgf・m～0.15kgf・m)
7	取扱説明書・保証書(本書)	裏表紙が保証書になっています。 お買い上げいただいた販売店の店名・住所が記載されていることをご確認ください。記載されていない場合は、販売店に確認ください。
—	microSDカード(2GB)	本機で使用する各種データが記録されています。(本機にあらかじめ装着されています。)

※紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。
※本機はスピーカーを内蔵しておりません。音声等をお聞きいただくためには、スピーカーユニットの接続が必要です。

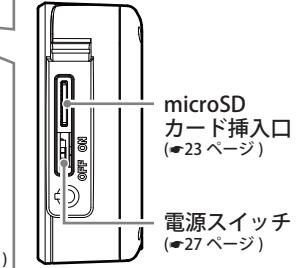
各部名称

本機

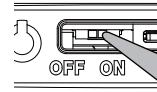


液晶ディスプレイは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があります。あらかじめご了承ください。

カバーロックキーを
LOCK→OPENにして、電源カバーを開きます。(16ページ)



電源スイッチについて



電源スイッチの操作は、ボールペンまたは小形ドライバの先など、丸みのあるものをご使用ください。ピンセットなど先端の鋭利なものによる操作は、操作部に傷をつけて操作ができなくなったり、接点部の接触に支障をきたす恐れがあります。また、シャープペンシルでの操作はしないでください。芯の粉や欠片がスイッチの動作を阻害する、スイッチ内部に入り込んで接触に支障をきたす、あるいは基板上に落下してパターンの短絡や絶縁等トラブルの原因になります。

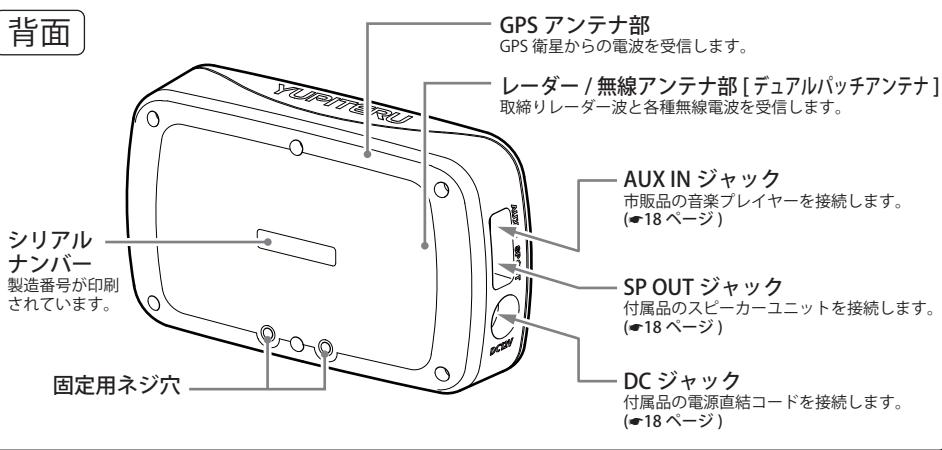
名称	説明
表示部	ワイド3.2インチのMVA液晶ディスプレイです。実写や動画、文字表示などで警報を行います。
LED発光部	警報時に光って警告します。
電源スイッチ	「ON」にすると電源がります。 ※初期設定では、ONになっています。
[T/MUTE]ボタン	警報時にタッチすると警報音がミュートされます。通常時にタッチするとテスト音声を聞くことができます。

警告

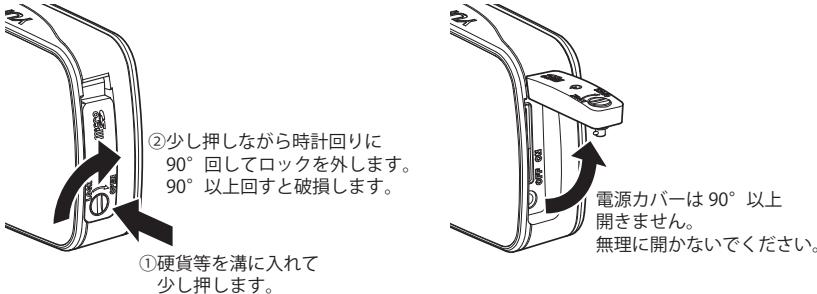
- microSDカードに保存されているデータの消失や本機の故障の原因となることがありますので、本書内でmicroSDカードについての説明をするとき以外は、絶対にmicroSDカードを抜かないでください。

必ずお読みください

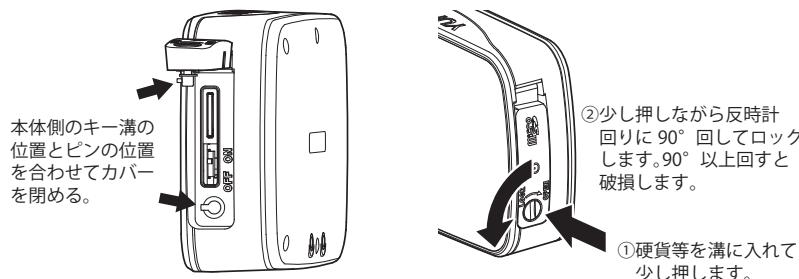
背面



電源カバーを開けるときの注意



電源カバーを閉じるときの注意



※電源カバーやその周辺が濡れた状態で、電源カバーを開閉すると内部に水が入って故障の原因となります。電源カバーの開閉は、周囲の水を拭き取ってから行ってください。

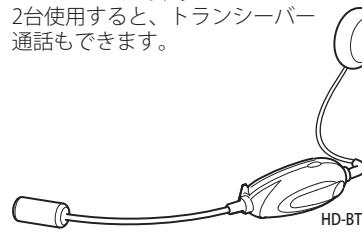
お使いいただくことでより便利になります。

●Bluetoothヘッドセット

HD-BT3 本体20,000円+税

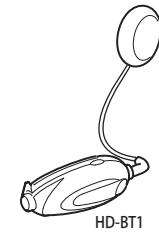
ワイヤレスで音声が聞けるBluetooth
ヘッドセットです。

2台使用すると、トランシーバー
通話もできます。



HD-BT1 本体10,000円+税

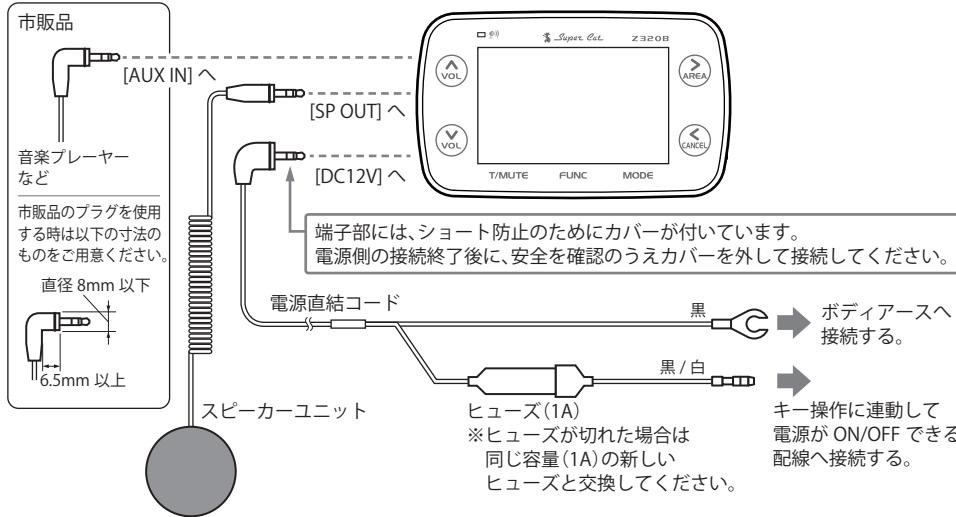
ワイヤレスで音声が聞けるBluetooth
ヘッドセットです。



取り付け

本機の固定は、市販品の取り付けステーを使用するなど、走行中に外れないよう注意してください。本機を取り付ける際にはバッテリーのマイナス端子をはずし、安全を確保してから行ってください。

接続先と構成図

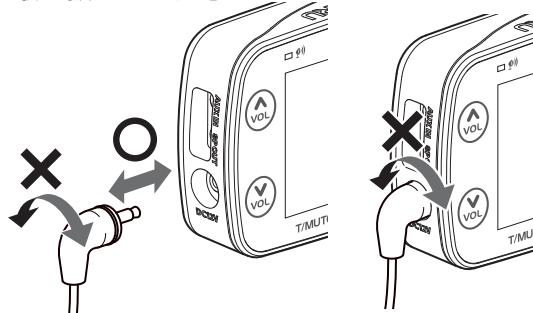


※電源直結コードは [DC12V] 以外には接続しないでください。故障する可能性があります。

※安全のために各ジャック部分は深い位置になっております。お手持ちの音楽プレーヤーなどを接続する時は、[AUX IN] 端子にきちんと接続できるプラグがついたものをご使用ください。

※本機に音楽プレーヤーを接続した場合、音量調節は音楽プレーヤーで行ってください。本機に接続すると、音楽はモノラルになります。本機にステレオイヤホンなどを接続しても、片側からのみ音が聞こえるようになります。

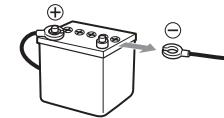
取り扱い上の注意



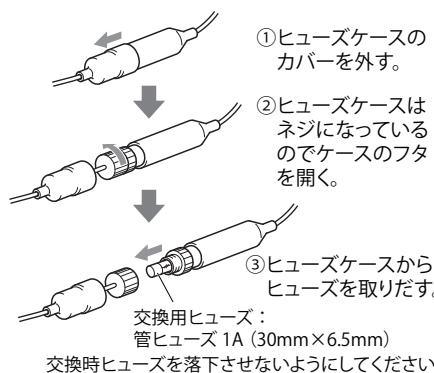
警告

! 作業中のショート事故防止のため、配線前に必ずバイクのバッテリーのマイナス端子をはずしてください。

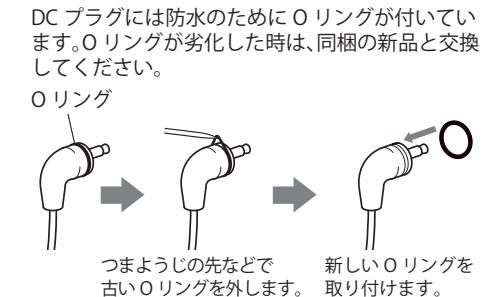
! カーナビやラジオ、オーディオなどを搭載したバイクでは、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。



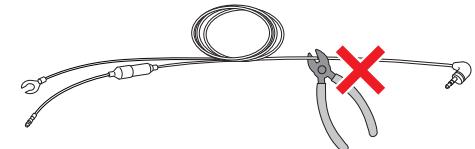
●ヒューズの交換方法



●Oリングの交換方法



●電源直結コードの方が長くても、切断して、短くしないでください。



●市販品 Z320B 用マウントの取り付け

Sygn House 社製マウント A パーツ

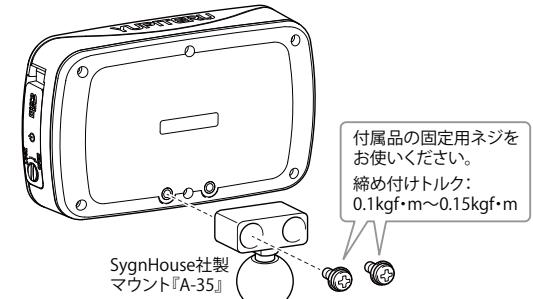
タイプ名：A-35

商品名：サンハウス・マウントシステム A-35

M8 シリーズ YUPITERU Z320B 用ホルダー

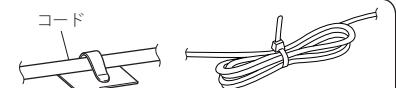
※詳しくは Sygn House 社ホームページをご覧ください。
<http://www.bolt.co.jp>

※付属品の固定用ネジの締め付けトルクは 0.1kgf·m ~ 0.15kgf·m を守ってください。強く締めすぎると本体およびマウントの変形や割れの原因となります。



アドバイス

市販品のコード固定クリップでコードを固定したり、結束バンドでコードを束ねることができます。



本機に別売品のHD-BT1/HD-BT3を接続することで、本機の音声をワイヤレスで聞くことができます。ここでは、別売品のHD-BT1を本機に接続する手順を記載します。

本機とペアリングする

機器の準備

あらかじめ、接続する機器の電源を入れペアリングの待機状態にして、本機の近くに置きます。

HD-BT1/HD-BT3では、電源ボタンを7秒以上押し続けます。「ピー」という音が鳴り、電源ボタンが赤色と青色で交互に点滅します。



本機操作手順

本機の電源をいれます。



MODE
[MODE] ボタンをタッチする



「設定」画面になります。

MODE
[MODE] ボタンをタッチする



「システム設定」画面
上下ボタンで
「Bluetooth 新規登録」
にします。



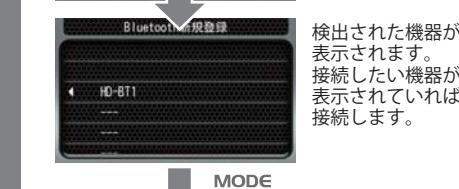
「Bluetooth 新規登録」
画面
MODE
[MODE] ボタンをタッチする



Bluetooth
ペアリング中。
画面、ボタンを
タッチすると中断
します。



検出しました。



検出された機器が
表示されます。
接続したい機器が
表示されていれば
接続します。



Bluetooth 接続中。
画面、ボタンを
タッチすると中断
します。



接続されました。

Bluetooth機器が接続されていると、本機画面上にアイコンが表示されます。



待受画面



フルマップ画面

接続が完了すると、接続した機器から本機の音声が聞こえるようになります。

検出できなかった場合



Bluetooth
ペアリング中



「検出できません」
と表示されます。



検出されなかっ
たため、機器の表示
がされません。

登録したBluetooth機器が接続できなかった場合は、Bluetooth初期化を行い、再度ペアリングを行ってください。



Bluetooth 初期化



初期化中

MODE
[MODE] ボタンを
タッチする



「初期化しました」
と表示されます。

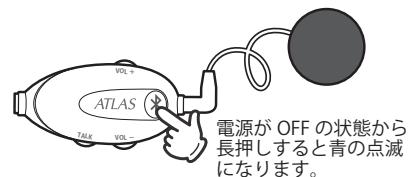


初期化され、自動で
画面が戻ります。

本機にすでにペアリングされた機器を接続する

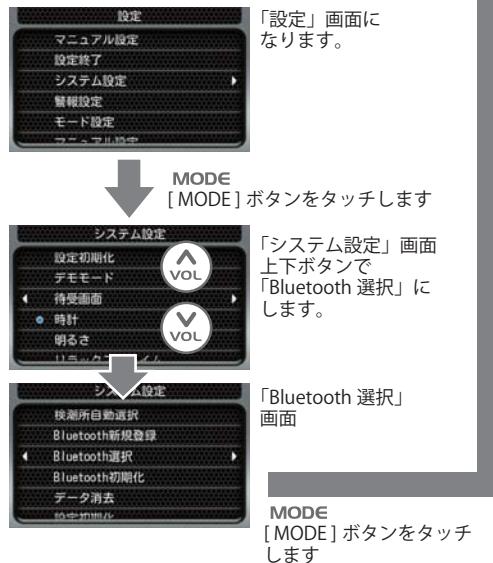
Bluetooth機器接続手順

接続するBluetooth機器の電源をONにし、本機の近くに置きます。
HD-BT1では、電源ボタンを長押しすると「ピー」という音が鳴り電源ボタンが青色に点滅します。



この状態で本機の電源をONにすると、本機がBluetooth機器を見つけて接続します。
もし接続されない時は、以下の方法で接続します。

通常画面で[MODE]ボタンをタッチします。



※接続が完了したBluetoothヘッドセット(HD-BT1/HD-BT3)は、次回使用時は自動的に接続されます。

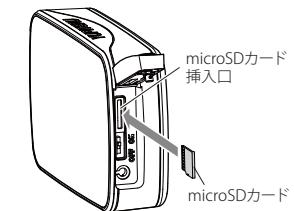
※別売品のBluetooth機器(HD-BT1/HD-BT3)以外のBluetooth機器との動作保証はいたしかねます。

注意

- microSDカードの出し入れは、必ず電源がOFFの状態で行ってください。
- microSDカードは一方向にしか入りません。microSDカードを下図のように挿入してください。
無理に押し込むと、本機やmicroSDカードが壊れることがあります。

GPSデータ更新などでmicroSDカードを取り出すときは、カードを押し込み、カードが少し飛び出してから引き出します。

付属品のmicroSDカードを装着する際は、右図の向きに合わせ、『カチッ』と音がするまでmicroSDカード挿入口に押し込んでください。



microSDカードの取り扱いについて

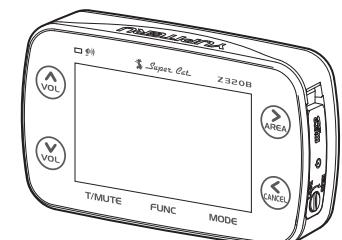
付属品のmicroSDカードには本機を起動させるためのデータ、実写警報「REALPHOTO(リアルフォト)」(☞42ページ)や「フルマップレーダースコープ」(☞36ページ)を表示させるためのデータ、音声データが保存されています。

重要

- 本機に付属品のmicroSDカードが挿入されていないと、本機は起動しません。必ず付属品のmicroSDカードを挿入してお使いください。
- microSDカードをパソコン等でフォーマットしないでください。
- microSDカードは本機専用でお使いください。他の機器には使用しないでください。

誤ってデータを削除した場合は、有償での対応となります。お買い上げの販売店、またはお客様ご相談センター(0120-998-036)にご相談ください。

お疲れ様でした。
これで本機をお使いいただくための準備は終了です。



本書では取締り方法について、以下を想定して説明しています。

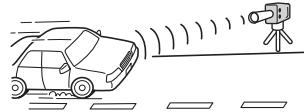
スピード違反の取締り方法

取締りの方法や種類をよくつかんで、上手にご使用ください。制限速度を守り、安全運転を心がけることが大切です。大きく分けて3つの方法があります。

1. レーダー波を使って算出する方法(レーダー方式)

取締りレーダー波を対象の車やバイクに向けて発射し、その反射波の周波数変化(ドップラー効果)で速度を算出します。

- 対象の車やバイクが近くに来まるまで、取締りレーダー波を発射しないステルス型の場合、事前に探知できません。



2. 距離と時間で算出する方法(光電管・ループコイル式オービス)

一定区間を通過するのにかかる時間から速度を算出します。

測定区間の始めと終わりに設置するセンサーには、赤外線や磁気スイッチなどが使われています。

- この方式は取締りレーダー波を発射しておりません。GPSターゲットとして登録されている場合のみ、警報することができます。

3. 追走して測定する方法(追尾方式)

指針を固定できるスピードメーターを搭載している白バイやパトカーで、対象の車やバイクを追走して速度を測ります。

- 追尾方式等で取締りレーダー波を発射しない機械式の計測方法の場合は、探知することができません。

取締りレーダー波について

取締りレーダー波は、発射するときの角度や装置の種類によって性質が異なります。

定置式

人が測定装置を道路際に設置して行います。

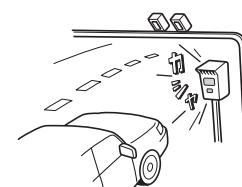
取締りレーダー波は、直進性が強いため、発射角度が浅いほど、探知しやすくなります。



自動速度取締り機 (新Hシステム、レーダー式オービス)

移動式

測定装置をパトカーに搭載して、移動しながら測定を行います。

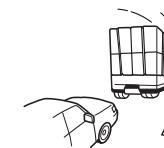


取締りレーダー波を受信しにくい場合

取締りレーダー波の発射方法や周囲の環境、条件などにより、取締りレーダー波を受信しにくいことがあります。

- 対象の車やバイクが近くに来るまで、取締りレーダー波を発射しない狙い撃ち的な取締りができるステルス型のスピード測定装置があります。

- 前に走行している車(とくに大型車)がある場合や、コーナー、坂道では、電波が遮断され、探知距離が短くなることがあります。スピードの出やすい下り坂では、とくにご注意ください。



[前に走行中の車がある場合]



[下り坂]



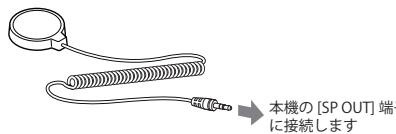
[コーナー]

ステルス型取締りについて

他の取締り機と同じ電波を使用していますが、事前に探知(受信)されないようにするために、待機中は電波を発射せず、必要なときに短時間強い電波を発射して速度の測定ができる狙い撃ち方式の取締り機です。

- ステルス型取締り機は、計測する瞬間だけ電波を発射するため、受信できなかつたり、警報が間にあわない場合があります。また、取締りには電波を使用しない光電管式などもありますので、先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。
- 通常の電波を受信した場合でも、周囲の状況などにより、ステルス波を識別警報することができます。
- ステルス型取締り機の電波を受信するとボイスでステルス波を識別警報します。

電源を入れる



オープニング画面



待受画面表示(例)



GPS ターゲット警報(例)



H システム警報(例)



測位しました

本機がGPS衛星からの電波を受信し、それを基に自機位置を認識したことを表して、『測位しました』と音声が流れます。

- スピーカーユニットを接続します。

- エンジンキーをONにしてください。(お買い上げ時点で本機の電源スイッチは『ON』になっています。)

- 最初にオープニングアニメーションが表示されます。

- 本機がGPS衛星を探します。探している間は、この画面が表示されます。GPS非測位時は時計が赤くなります。この間、本機は自機の位置と時刻を認識していません。

- 本機がGPS衛星を見つけると、画面が待受画面に変わります。必ず『測位しました』のボイスを確認してから出発してください。測位位置によっては、待受画面が表示されず、いきなり警報画面が表示される場合があります。

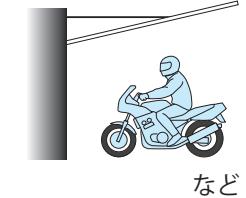
測位に時間がかかることがあります

次のような場合、本機の電源を入れてから『測位しました。』と音声が流れるまでに、時間がかかる、もしくは測位できない場合があります。その場合は、障害物や遮蔽物のない視界のよい場所へ移動し、バイクを停車して行ってください。

建物の谷間

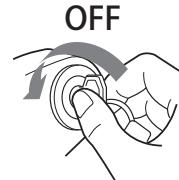


屋根の下



など

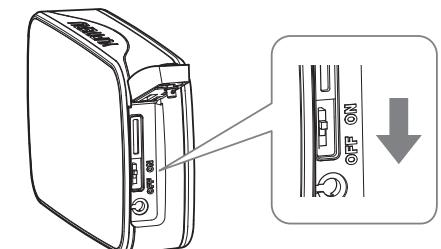
電源を切る



バイクのエンジンキーをOFFにすると、本機の電源もOFFします。

エンジンキーをOFFにしても本機の電源がOFFにならない場合

車種によってエンジンキーをOFFにしても、本機の電源がOFFにならない場合があります。その場合は、必ず本機の電源スイッチを手動で、OFFにしてください。
※バッテリー上がりの原因となります。



画面表示について

つづく

待受画面

警報やお知らせがない時に、運転に役立ついろいろな情報を表示するのが待受画面です。



- 初期設定は、「時計」に設定されています。
- 日付および時刻は、GPS測位により自動的に設定され、日付や時刻合わせの操作は不要です。GPS非測位時は右上の時計色が赤色になります。(測位状況により日付や時刻が合わないことがあります。)
- 時刻の表示は、24時間表示です。
- 走行速度はGPSの電波に基づき表示しています。また、車両の速度計は、数値が高く表示される(プラス誤差)傾向があります。
- [FUNC]ボタン、または画面をタッチすることで、簡単に待受画面を変更できます。

緯度・経度について

緯度・経度を表示させ、ity.MAPサービス(☞85ページ)をご活用いただけます。

表示方法

必ず、バイクを止めてから操作してください。

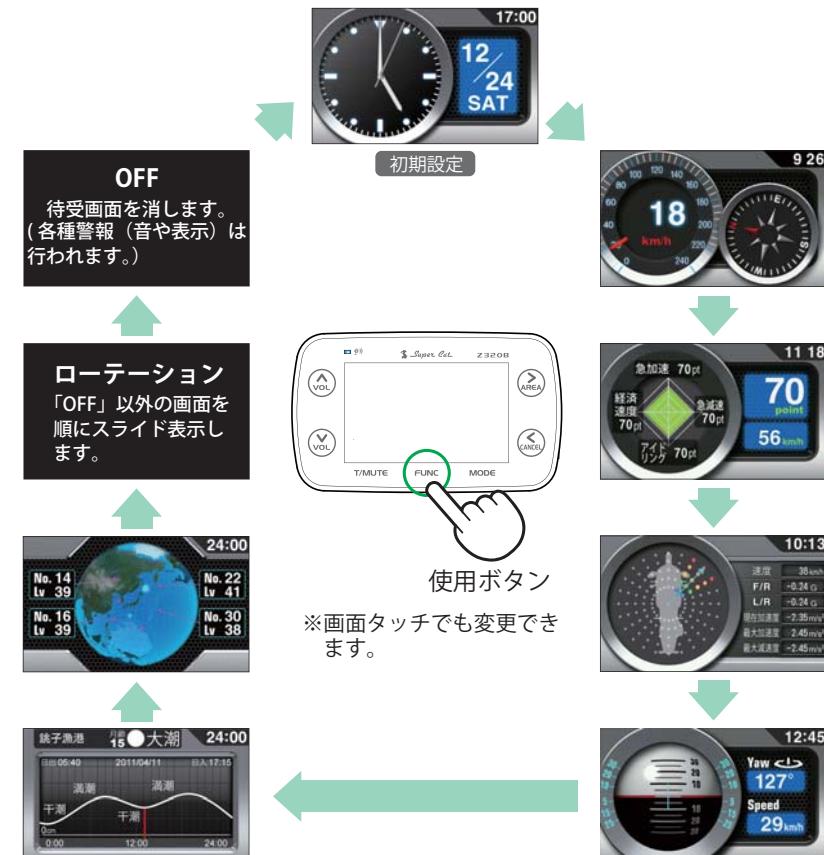
[FUNC]ボタンを長押しする。



- 表示部にQRコードと緯度(N)・経度(E)を約1分間表示します。
- 表示中は、移動しても緯度・経度は変わりません。
- GPS非測位のときは、緯度・経度は表示できません。
- 戻るときは、[FUNC]ボタン、または画面をタッチしてください。
- 表示させたまま1分間経過すると、自動的に直前の画面に戻ります。

選択方法

待受画面は、7種類および「ローテーション」と「OFF」が用意されています。
待受画面が表示されているときに、表示させたい待受画面が表示されるまで、[FUNC]ボタン、または画面をタッチしてください。



各待受画面の説明

時計



時刻とカレンダーを表示します。

- 時刻合わせは自動でおこなわれますので、時刻合わせは必要ありません。(GPSの測位状況により合わない場合があります。)

速度



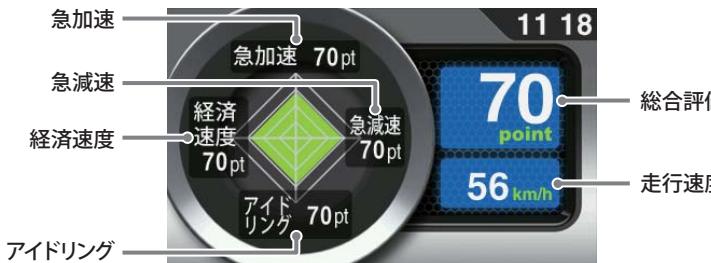
速度

車両の速度をアナログ針と数値で表示します。

方位

車両の方位を表します。
GPS非測位時は北(N)が青色になります。

エコドライブ



エコドライブモニター(特許出願中)を表示します。

GPSの電波を受信して得られる速度データをもとに、「急加速のポイント」、「急減速のポイント」、「アイドリングのポイント」、「経済速度のポイント」の4項目から運転を総合評価します。

(右ページへ続く)

速度の数値はGPS波を受信して表示しています。トンネル内などGPS波を受信できない場所では速度の表示ができません。

エコドライブ(続き)

急加速

急加速と判断するとポイント(pt)を減点します。
(初期値: 70pt)

急減速

急ブレーキなどによる急減速と判断するとポイント(pt)を減点します。
(初期値: 70pt)

アイドリング

エンジン始動後、停車している時間が長いとポイント(pt)を減点します。
(初期値: 70pt)

経済速度

時速60km前後での走行と判断するとポイント(pt)が加点され、高速、低速での走行と判断するとポイント(pt)を減点します。
(初期値: 70pt)

※実際の交通規制に従って走行してください。

総合評価

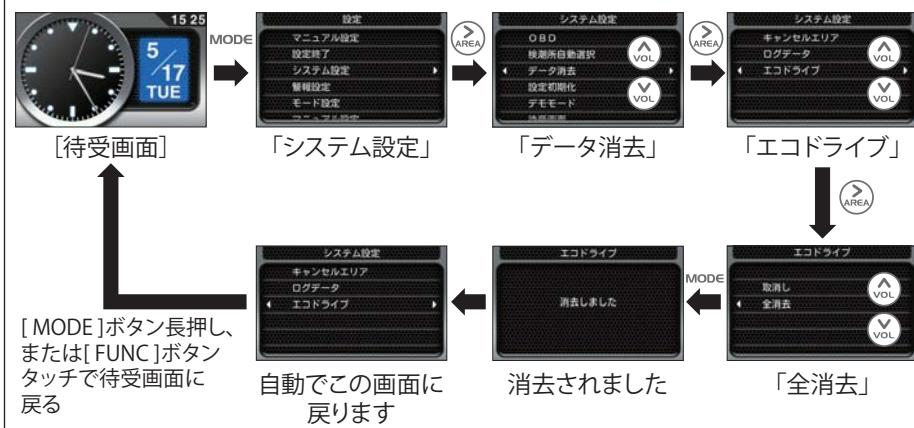
「急加速」「急減速」「アイドリング」「経済速度」の各ポイント(pt)の平均を算出します。

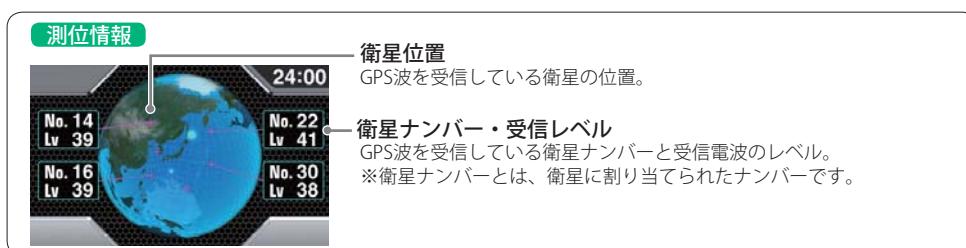
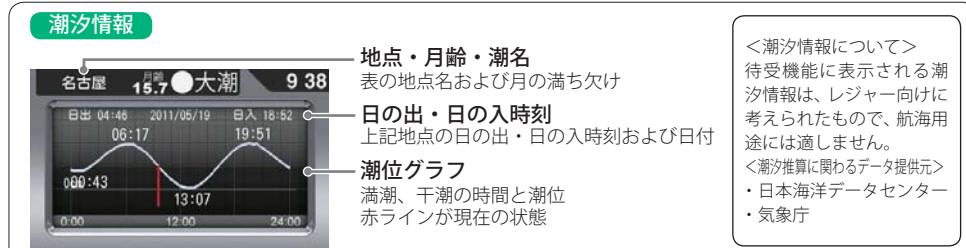
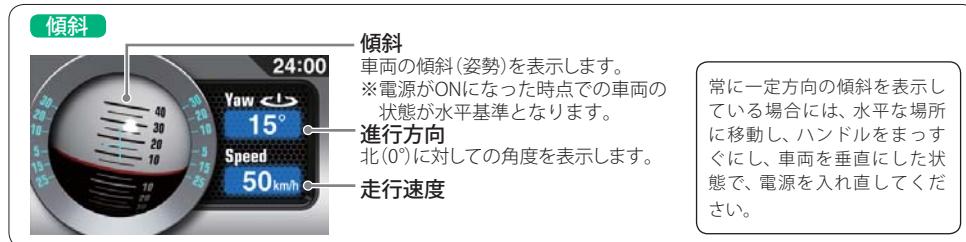
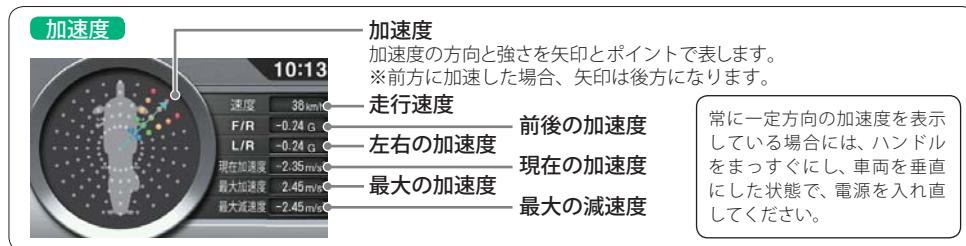
- GPS電波を受信できない場合は、各項目の採点は行いません。
- 急加速、急減速は、加速時や減速時に合わせて変化します。
- 速度データをもとに評価するものです。目安としてお考えください。

ポイントのリセット

各ポイントを初期値の70ptにリセットできます。

- いったんリセットすると、元には戻せませんので、ご注意ください。
- 各ポイントを個別にリセットすることはできません。





公開取締情報について

走行中の市区町村に沿った、各都道府県警察署発表の公開取締情報を、画面下にテロップで流すことができます。全国地図と連動させた独自の分かりやすい案内機能です。

場所、時期によっては表示されない場合もあります。

ご購入時は、本機に公開取締情報のデータが入っていません。表示させる場合は、パソコンでデータをダウンロードしてください。詳しくは、弊社ホームページ(<http://www.yupiteru.co.jp/>)をご覧ください。

※GPSの日時情報により、日付の過ぎたものは表示されません。

※公開取締情報が発表されていない地域では表示されません。

※公開取締り以外でも各都道府県にて取締りを実施しております。



公开取締情報を表示している市区町村に入ると、入った市区町村の情報が流れます。

GPSターゲットに接近すると・・・

ターゲットフォーカス機能・フルマップレーダースコープ

本機に登録されたGPSターゲットに近づくと、待受画面から全国版フルマップ上でターゲットの存在をお知らせするレーダースコープ画面に切り替わります。走行している道路の先にあるGPSターゲットを前もって知ることができます。



- 制限速度表示は、オービス(ループコイル/LHシステム/新Hシステム/レーダー式オービス)と一緒に表示されます。
- 表示される時刻・速度・距離は、GPSの受信状況により、ずれことがあります。
- 走行速度やGPSターゲットまでの距離、自車アイコンは、GPSやGセンサー、VPSにより計測し表示させています。状況によっては実際と異なる場合もあります。
- GPS非測位時、走行速度は表示しません。

GPSターゲットアイコン一覧

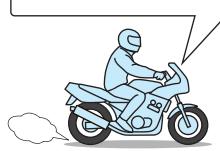
GPSターゲットのアイコン表示は、緊急度の高い順に「赤」→「黄」→「青」→「緑」の4色に識別して表示します。

色	ターゲット	アイコン表示
赤色	ループコイル	
	LHシステム	
	新Hシステム	
	レーダー式オービス	
黄色	マイエリア	
	マイキャンセルエリア	
	ネズミ捕りエリア	
	移動オービスエリア	
緑色	追尾式取締エリア	
	一時停止取締エリア	
	交差点取締エリア	
	その他取締エリア	
	シートベルト検問エリア	
	飲酒検問エリア	
	携帯電話検問エリア	
	その他検問エリア	
	交差点監視ポイント	
	信号無視抑止システム	
	高速道 交通警察隊	
	一時停止注意ポイント	
青色	Nシステム	
	交通監視システム	
	警察署	
	事故多発エリア	
基本的な使い方	交番	
	踏切	
	サービスエリア	
	パーキングエリア	
基本的な使い方	ハイウェイオアシス	
	高速道 長/連続トンネル	
	ハイウェイラジオ受信エリア	
	道の駅	
	ビューポイントパーキング	
	駐車場	
	消防署	
	公衆トイレ	

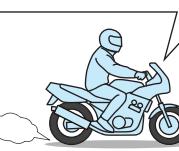
取締りレーダー波を受信すると・・・

取締りレーダー波を受信した場合は、すぐに警報・告知を行う画面に切り替わります。

例



Wアラーム(ダブルアラーム)+LED



オービス



Wアラーム(ダブルアラーム)

音(電子音/メロディ/ボイス/クワイアットボイス)と画面表示のダブルで警報します。

後方受信

iDSPによる超高精度識別およびスーパーイクストラの超高感度受信により、後方からの取締りレーダー波もシッカリ受信します。

接近テンポアップ(電子音選択時のみ)

取締りレーダー波発信源への接近に伴う電波強度の変化に合わせて電子音のテンポが上がります。

取締りレーダー波発信源との距離	遠い → 近い
電子音	『ピロ・ピロ』 → 『ピ―――』 断続音から連続音に変化します。
受信レベル表示	L1 → L5 レーダー波の受信レベルが変化します。



電子音/メロディ/ボイス/クワイアットボイスの設定については⇒P.72

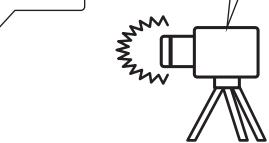
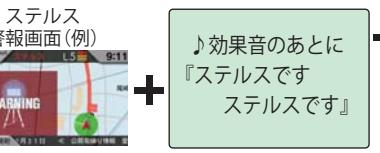
ステルス波を受信すると

警報画面と専用の警報ボイスで警告します。

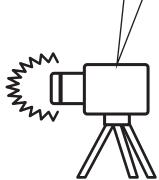
例



Wアラーム(ダブルアラーム)+LED



ステルス



『ステルスです ステルスです』と警報したあと、通常の警報音(メロディ、ボイス、クワイアットボイス、電子音)の警報になります。(ステルスにアイコンはありません。)

レーダー波3識別(iDSP)について

本機は、iDSP/統合的デジタル信号処理技術(integrated Digital Signal Processing Technology)により、ステルス型取締り機の「一瞬で強い電波」に対しては、ただ単に警報するだけでなく、通常波と区別して警報画面とボイスでお知らせします。さらに、インテリジェントキャンセル(→79ページ)により取締り波かどうかを識別し、誤警報を抑えます。

[ステルス識別]

[インテリジェントキャンセル：特許 第3902553号、第4163158号]

- iDSPはステルス型の取締り機に対して完全対応という訳ではありません。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。

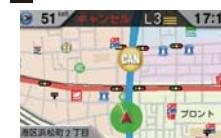
1 ステルス波



2 通常レーダー波



3 キャンセル告知



- フルマップレーダースコープ画面におけるターゲット表示とレーダー波の発信元とは無関係です。
- 新Hシステムの断続的なレーダー波を受信した際も、通常のレーダー波と同じ警報となります。

各種無線電波を受信すると・・・

GPS + Xバンド
Kバンド + 無線14バンド = **17**
BAND

本機は、取締りレーダー波のX・Kツイン
バンドとGPSの3バンドの他に、無線14バ
ンド受信をプラスし、17バンド受信ができ
ます。

1. 無線14バンド受信機能



2. ベストパートナー 6 識別

カーロケ無線、取締無線、デジタル無線などの無線の受信状態からシミュレーションし、快適ドライブのベストパートナーとして、安全走行のためのタイムリーな情報をお知らせします。また、カーロケ無線(407.7MHz帯の電波)を受信したとき、その発信元の遠近を自動識別し、さらに発信元が圏外になったと思われる場合もお知らせします。

- カーロケ無線やベストパートナーは、カーロケ無線が受信可能な一部地域のみはたらきます。

[検問注意：特許 第4119855号]

[並走追尾注意/すれ違い/圏外識別：特許 第3780262号]

●「カーロケ無線」「取締無線」「デジタル無線」の設定(→74.81ページ)をすべて「ON」にする

- いずれかの無線がOFFの状態では、一部のベストパートナー機能がはたらきません。

種々の無線を受信すると・・・



※上記表示の後、実写画像に変わります。



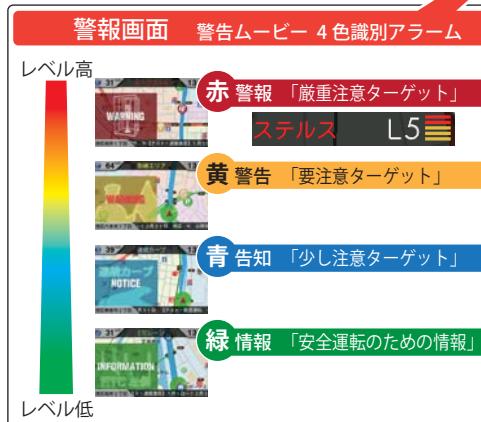
各種無線電波の詳細については、62ページをご覧ください。

警報画面

取締レーダー波を探知したり、注意度の高いオービスや取締エリアなどのGPSターゲットから1km（高速道では2km）に近づくと、待受画面から「フルマップレーダースコープ画面」や「実写警報(REAL PHOTO リアルフォト)」が表示される警報画面に切り替わります。また、公開取締情報が表示されるときもフルマップレーダースコープ画面になります。本機にGPSターゲットが登録されていない場合は、待受画面から警報画面に切り替わります。



GPS ターゲットが登録されていない場合は、フルマップレーダースコープ画面は表示されません。



赤 ループコイルなど「厳重注意」ターゲットを赤色の背景で警報。ターゲット名はもちろん、ステルス波やレーダー波は電波受信をレベル表示します。

黄 取締エリアなど「要注意」ターゲットを黄色の背景で警告。ターゲット名とターゲットまでの距離をカウントダウン表示します。

青 連続カーブなど「少し注意」ターゲットを青色の背景で告知。

緑 ETC レーンなど「安全運転のための情報」を緑色の背景でお知らせ。

実写警報「REAL PHOTO (リアルフォト)」



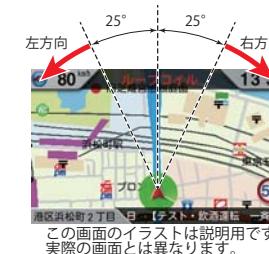
取締エリア実写例



- 実写データがない取締エリアでは、イメージ写真で表示します。
- 一時停止取締エリアはエリア内でのみ表示します。

警報ボイス

左右方向識別ボイス



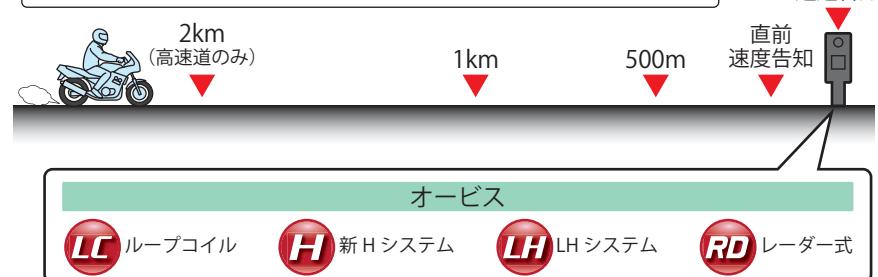
GPS警報は、ターゲットが進行方向に対して、右手または左手方向に約25°以上のとき、「左方向」または「右方向」のボイスを付加して、その方向をお知らせします。

- ・『右方向』、『左方向』のボイスは、告知時点でのターゲット方向であり、右車線、左車線を示す訳ではありません。
- ・ターゲットまでの距離が非常に近い場合は、左右方向識別ボイスをお知らせしないこともあります。

オービス 5段階警報



※上記表示の後、実写画像に変わります。



●警報音(ボイス)によるお知らせ(例)

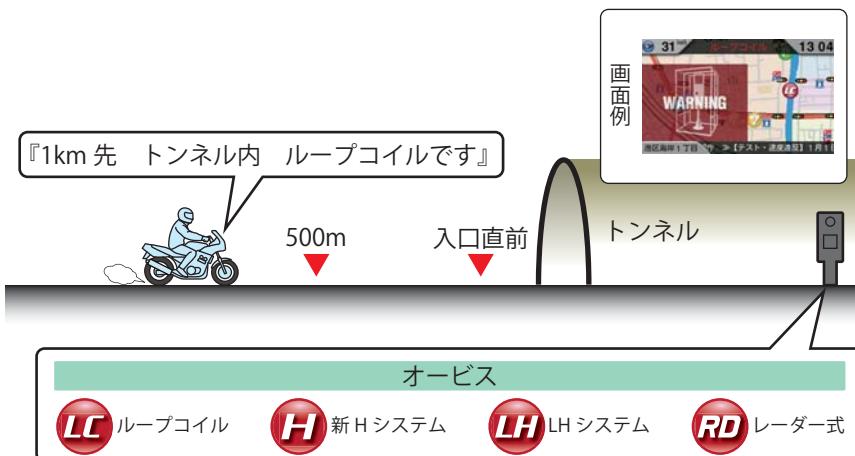
距離およびタイミング	お知らせ例	お知らせ条件
手前約2km (高速道のみ)	→ 『2km先 高速道 LHシステムです』	車両の現在速度が走行路線の制限速度を超えている場合にお知らせします。
手前約1km	→ 『1km先 高速道 LHシステムです』	GPSの受信状況や内蔵されているGセンサーの動作状況により、『300m先/200m先/100m先/すぐ先』とお知らせすることができます。
手前約500m	→ 『500メートル先 高速道 LHシステムです』	車両の現在速度をお知らせするもので、走行路線の制限速度ではありません。
直前速度告知	→ 『走行速度は60キロ以下です』	車両の現在速度をお知らせするもので、走行路線の制限速度ではありません。
通過告知	→ 『通過します』	※このオービス5段階警報は、トンネル出口ターゲットとトンネル内オービスに対しては機能しません。※マニュアルモード時はオービス5段階警報のON/OFFが可能ですが。

※このオービス5段階警報は、トンネル出口ターゲットとトンネル内オービスに対しては機能しません。
※マニュアルモード時はオービス5段階警報のON/OFFが可能ですが。

トンネル内オービス

トンネルの中ではGPSの電波が受信できないため、従来はトンネル内に設置されているオービスを警報できませんでした。本機では、トンネルの約500m手前と入口直前の2カ所(※)で、トンネル内のオービスを警報画面とボイスでお知らせします。

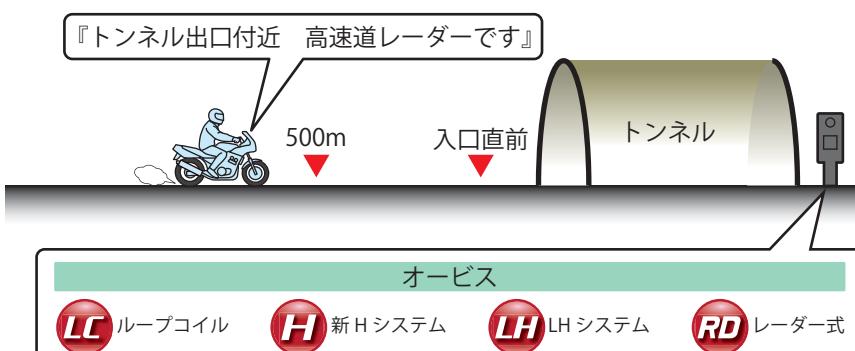
※ GPS測位または地理的な状況によっては、1カ所のみの警報になります。



トンネル出口ターゲット

トンネルの中ではGPSの電波が受信できないため、出口付近に設置されているオービスを警報できませんでした。本機では、トンネルの約500m手前と入口直前の2カ所(※)で、出口付近のオービスや道の駅などを警報画面とボイスでお知らせします。

※ GPS測位または地理的な状況によっては、1カ所のみの警報になります。



直前速度告知

オービス直前での現在速度をお知らせします。

『走行速度は〇〇です』

「120キロ以上 / 120キロ以下 / 110キロ以下 / 100キロ以下 / 90キロ以下 / 80キロ以下 / 70キロ以下 / 60キロ以下 / 50キロ以下 / 40キロ以下 / 30キロ以下」のいずれかでお知らせします。

直前
速度告知



オービス

LC ループコイル

H 新Hシステム

LH LHシステム

RD レーダー式

※走行速度はGPSの受信状況やGセンサーの動作状況により、実際の速度と異なる場合があります。
※トンネル出口ターゲットとトンネル内オービスに対しては、直前速度告知を行いません。
※マニュアルモード時は直前速度告知のON/OFFが可能です。

通過告知

オービスの撮影ポイントや登録されたマイエリアの通過をお知らせします。

『…通過します』

通過告知



オービス

LC ループコイル

H 新Hシステム

LH LHシステム

RD レーダー式

※走行速度はGPSの受信状況やGセンサーの動作状況により、実際のオービス直下ではなく、通過前や通過後にお知らせする場合があります。

※トンネル出口ターゲットとトンネル内オービスに対しては、通過告知を行いません。

※マニュアルモード時は通過告知のON/OFFが可能です。



マイエリア(☞66ページ)
をお読みください。

制限速度告知

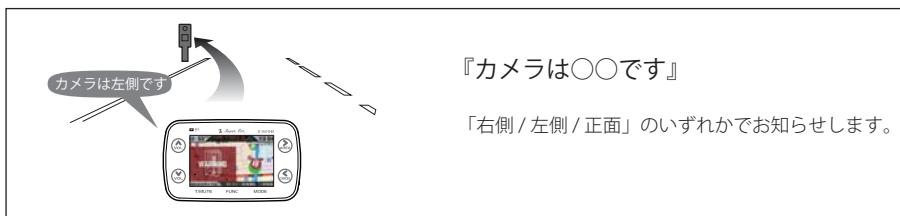
約1km手前のオービス警報や取締エリア内の警報に続けて、走行中の道路の制限速度をお知らせします。



- ※普通自動車に対する制限速度をお知らせします。また、事故や天候、時間帯などによって変更される制限速度には対応しておりません。状況に応じた制限速度で走行してください。
- ※トンネル出口ターゲットや制限速度が本機に登録されていない場合は、告知しません。
- ※マニュアルモード時は制限速度告知のON/OFFが可能です。

カメラ位置告知

約500m手前のオービス警報に続けて、オービスのカメラ位置をお知らせします。



- ※トンネル出口ターゲットに対しては、カメラ位置告知をしません。
- ※マニュアルモード時はカメラ位置告知のON/OFFが可能です。

制限速度切替告知(高速道路のみ)

高速道路への進入ポイント、パーキングエリア、サービスエリアなどの出口ポイントや高速道路から別の高速道路へのジャンクションで、高速道路本線の制限速度をお知らせします。

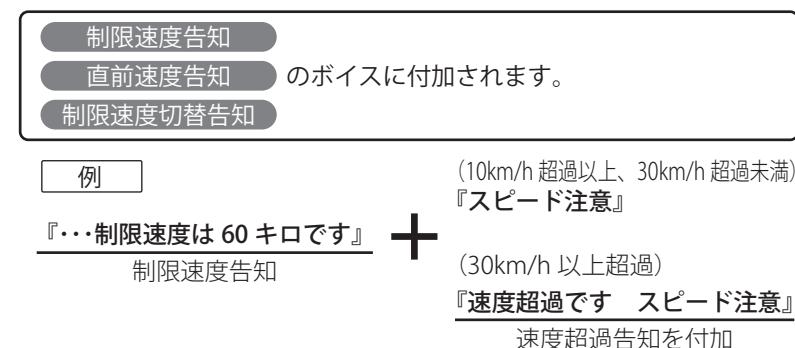


※普通自動車に対する制限速度をお知らせします。また、事故や天候、時間帯などによって変更される制限速度には対応しておりません。状況に応じた制限速度で走行してください。

※マニュアルモード時は制限速度切替告知のON/OFFが可能です。

速度超過告知

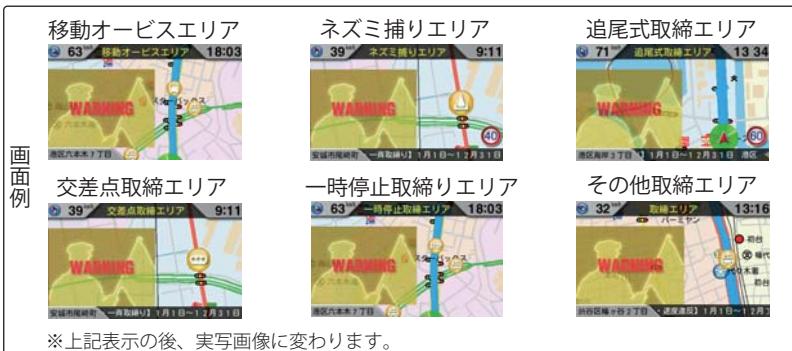
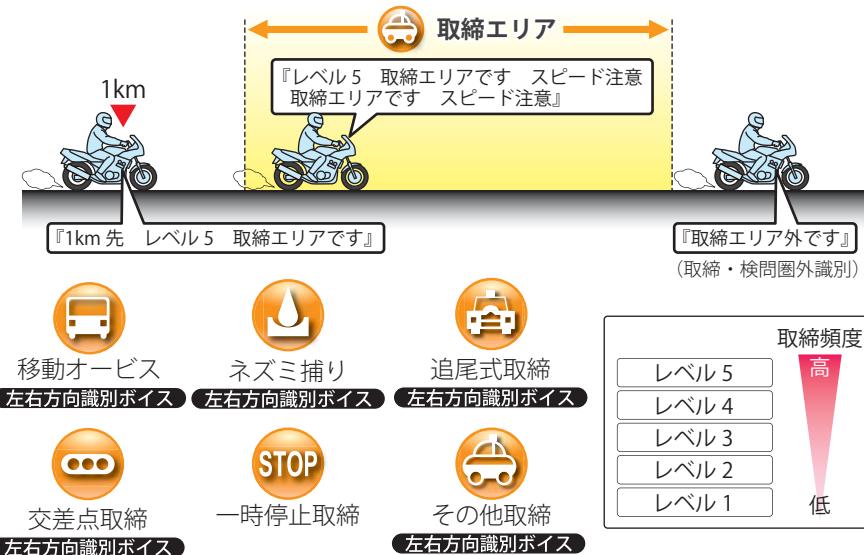
「制限速度告知」、「直前速度告知」、「制限速度切替告知」を行う際に、現在速度が制限速度を超えているときに、『スピード注意』または『速度超過です スピード注意』のボイスが付加されて流れます。



- ※走行速度はGPSの受信状況やGセンサーの動作状況により、実際の速度と異なる場合があります。
- ※普通自動車に対する制限速度をお知らせします。また、事故や天候、時間帯などによって変更される制限速度には対応しておりません。状況に応じた制限速度で走行してください。
- ※マニュアルモード時は速度超過告知のON/OFFが可能です。

取締エリア

6種類の取締エリアに接近、取締エリアに進入、取締エリアから出た時の最大3段階で警報/お知らせします。



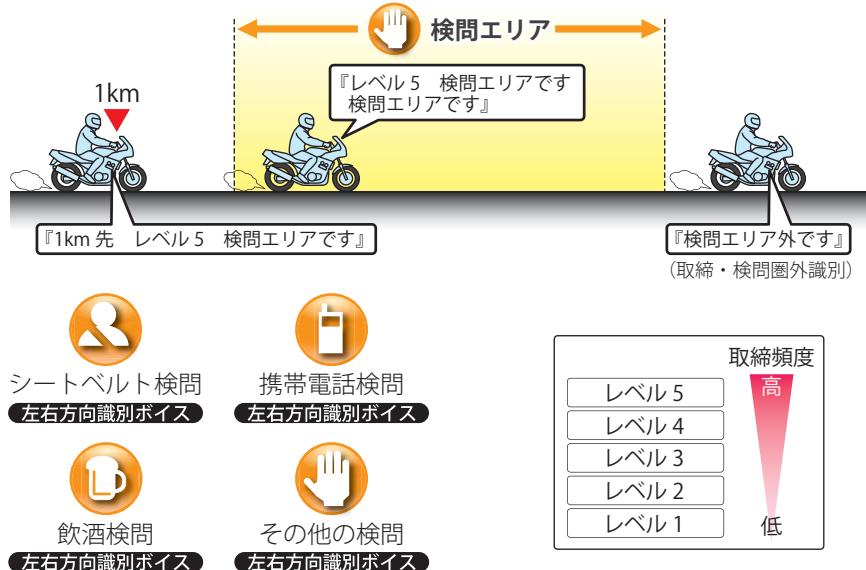
※「トンネル内追尾式取締エリア」と「トンネル出口直後ネズミ捕りエリア」から出た場合は、『取締エリア外です。』のお知らせは行いません。

※一時停止取締エリアの警告は、取締エリアに進入したときのみ行います。

※本機に登録されている取締エリアは、過去のデータに基づいています。頻度などは目安としてお考えください。

検問エリア

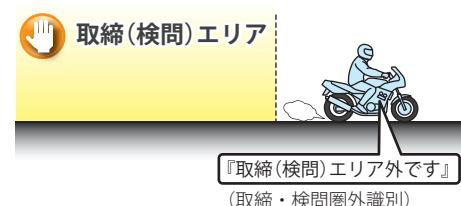
4種類の検問エリアに接近、検問エリアに進入、検問エリアから出た時の最大3段階で警報/お知らせします。



※本機に登録されている取締エリアは、過去のデータに基づいています。頻度などは目安としてお考えください。

取締・検問圏外識別

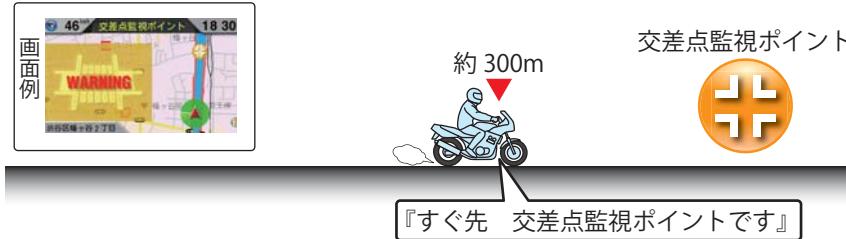
取締エリアまたは検問エリアから出た時にお知らせします。



※本機に登録されている取締エリアは、過去のデータに基づいています。お知らせを行った後でも取締・検問を行っている場合があります。

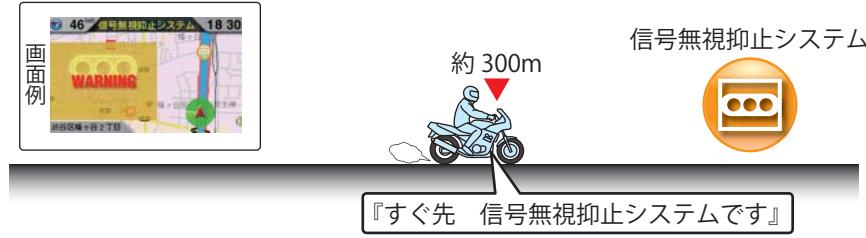
交差点監視ポイント

本機に登録されたている、過去に検問が行われた交差点から約300mに接近するとお知らせします。



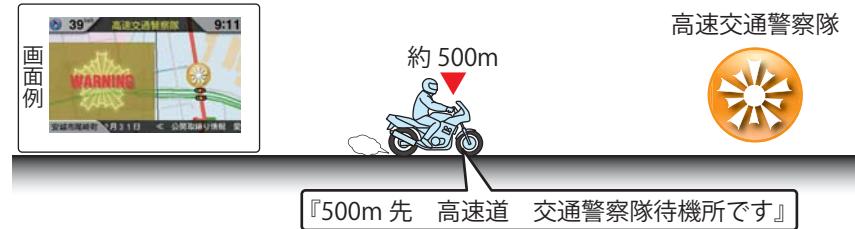
信号無視抑止システム

信号無視抑止システムから約300mに接近するとお知らせします。



高速交通警察隊

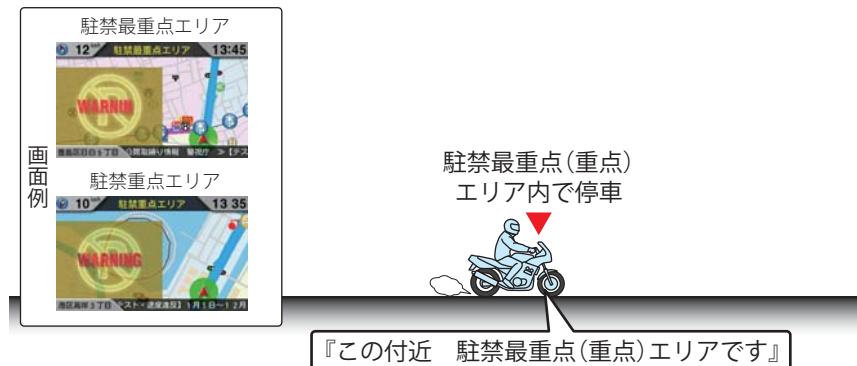
高速道 交通警察隊の待機所から約500mに接近するとお知らせします。



※GPSの受信状況やGセンサーの動作状況により、距離の告知『500m先』が『300m先/200m先/100m先/すぐ先』になる場合があります。

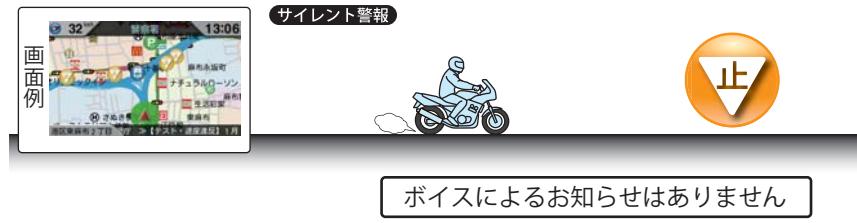
駐禁監視エリア

本機に登録されている違法駐車取締りガイドラインの最重点地域・重点地域内で停車すると、お知らせします。



一時停止注意ポイント

本機に登録されている一時停止注意ポイントのアイコンを表示します。



※東京都23区/名古屋市内/大阪市内の一時停止注意ポイントが登録されています。

エヌ(N)システム

エヌ(N)システムから約300mに接近するとお知らせします。



『すぐ先 N システムです』

エヌ(N)システム



約 300m

警察署

警察署から約500mに接近するとお知らせします。



約 500m

警察署



『500m 先 警察署です』



エヌ(N)システム

「自動車ナンバー読み取り装置」の略称で、その名のとおり走行中の自動車のナンバーを道路上に設置した赤外線カメラにより自動的に読み取り、そのデータを各都道府県の警察本部などに専用線を通して送信する装置で、自動車を利用した犯罪の捜査や盗難車両の検挙、発見などを効率的に行うことを目的に開発、導入されたものです。

交通監視システム

交通監視システムから約300mに接近するとお知らせします。



『すぐ先 交通監視システムです』

交通監視システム



約 300m

交番

本機に登録されている交番ポイントのアイコンを表示します。



サイレント警報



ボイスによるお知らせはありません



交通監視システム

交通監視システムとは「画像処理式交通流計測システム」などと言われているシステムで、道路上に設置したCCDカメラで撮影した画像を処理し、交通量、速度、車種などを計測するものです。

本システムは東京都港湾局の管轄で、計測した車速により『速度落とせ』や『速度オーバー』等を掲示板で警告しますが、スピード取締りの実績はありません。

事故多発エリア

本機に登録されている、過去に事故が多発したエリアの約300mに接近するとお知らせします。



事故多発エリア



『すぐ先 事故多発エリアです』

車上狙い多発エリア

本機に登録されている車上狙い多発地域内で停車すると、お知らせします。



踏切

本機に登録されている踏切ポイントのアイコンを表示します。



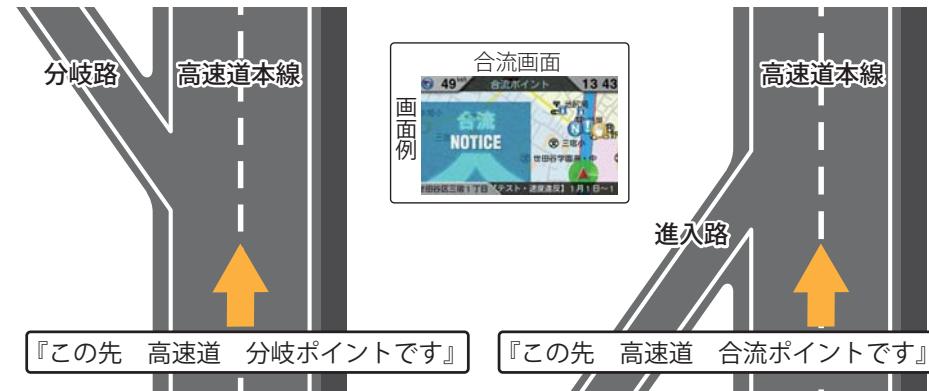
急(連続)カーブ(高速道路のみ)

高速道路の急(連続)カーブにさしかかると、お知らせします。



分岐(合流)ポイント

高速道路の分岐(合流)ポイントにさしかかると、お知らせします。



※GPSの受信状況やGセンサーの動作状況により、インターチェンジ出口走行中に、本線の分岐を告知することがあります。

ETCレーン

ETCのある料金所にさしかかると、ETC用レーンの位置をお知らせします。

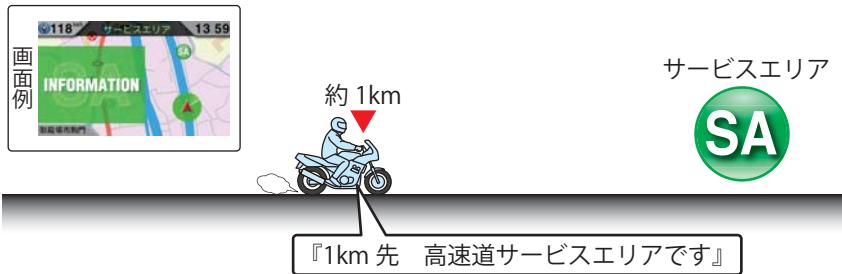


※実際の料金所ブースの配置と説明イメージが異なる場合があります。その場合は、実際の標識等にしたがって進入してください。

※交通量や時間によるETCレーンの位置変更には対応しておりません。目安としてお考えください。

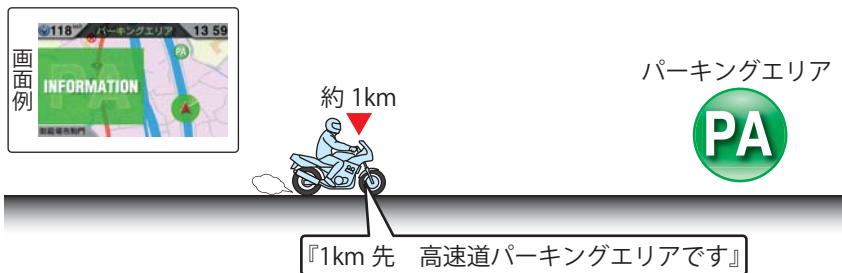
サービスエリア(高速道路のみ)

サービスエリアから約1kmに接近するとお知らせします。



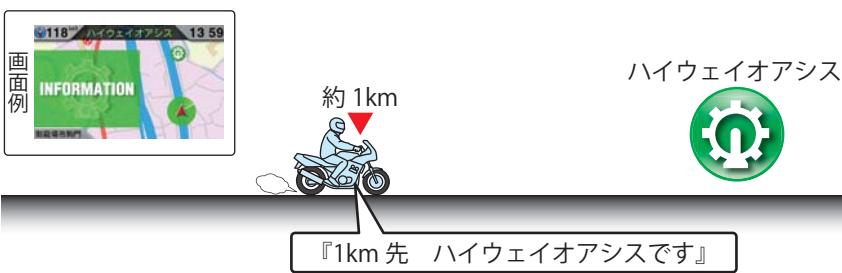
パーキングエリア(高速道路のみ)

パーキングエリアから約1kmに接近するとお知らせします。



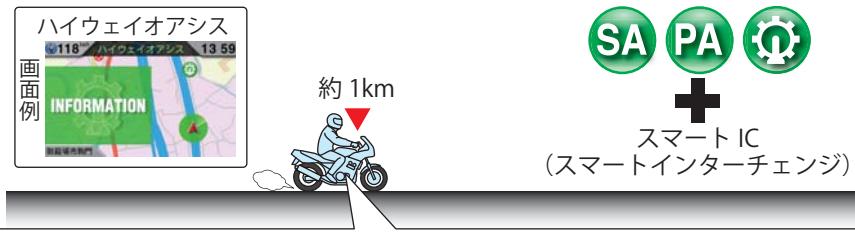
ハイウェイオアシス

ハイウェイオアシスから約1kmに接近するとお知らせします。



スマートインターチェンジ

スマートインターチェンジがあるサービスエリア、パーキングエリア、ハイウェイオアシスから約1kmに接近するとお知らせします。



- SA 『1km先 高速道サービスエリアです スマートインターチェンジです』
- PA 『1km先 高速道パーキングエリアです スマートインターチェンジです』
- HO 『1km先 高速道ハイウェイオアシスです スマートインターチェンジです』

※サービスエリア、パーキングエリアおよびハイウェイオアシスのお知らせをOFFに設定すると、スマートインターチェンジのお知らせも行いません。

SA / PA内ガステーション(高速道路のみ)

ガステーションがあるサービスエリア、パーキングエリアから約1kmに接近するとお知らせします。また、本機にブランド名が登録されている場合は、ブランド名もお知らせします。



- SA 『1km先 高速道サービスエリアです ガステーションがあります』
- PA 『1km先 高速道パーキングエリアです ガステーションがあります』

本機にブランド名が登録されている場合

『ガステーションは〇〇(ブランド名)です』

※サービスエリア、パーキングエリアのお知らせをOFFに設定すると、ガステーションのお知らせも行いません。



サービスエリアもしくはパーキングエリアにスマートICとガスステーションの両方がある場合。

例

約 1km



ガスステーション
スマートインターチェンジ

『1km先 高速道サービスエリアです スマートインターチェンジです
ガスステーションがあります ガスステーションは○○(ブランド名)です』
ガソリンスタンドのブランド名は、本機にブランド名が登録されている場合にお知らせします。

長い(連続)トンネル(高速道路のみ)

長い(連続)トンネルから約1km(500m)に接近するとお知らせします。



約 1km

約 500m



『1km(500m)先 高速道 長い(連続)トンネルです』

ハイウェイラジオ(高速道路のみ)

ハイウェイラジオ受信エリアに接近するとお知らせします。



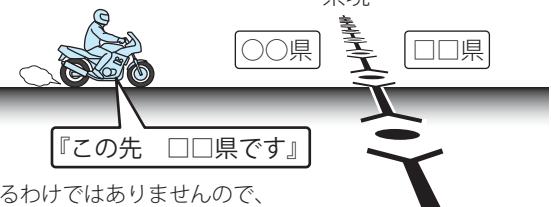
ハイウェイラジオ



『高速道 ハイウェイラジオ受信エリアです』

県境(高速道路および主要一般道路のみ)

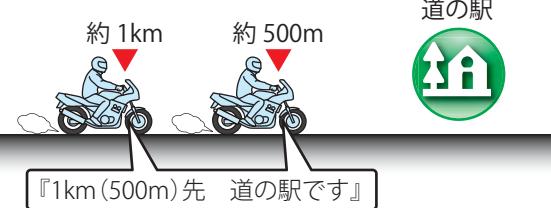
県境に接近するとお知らせします。



※すべての道路の県境が登録されているわけではありませんので、
あらかじめご了承ください。

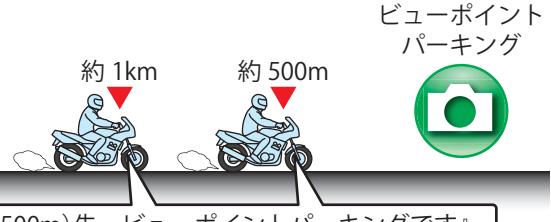
道の駅

道の駅から約1km(500m)に接近するとお知らせします。



ビューポイントパーキング

ビューポイントパーキングから約1km(500m)に接近するとお知らせします。



ビューポイント
パーキング



警報ボイスについて

駐禁エリア付近駐車場

本機に登録されている駐車場エリア付近のアイコンを表示します。



消防署

本機に登録されている消防署のポイントをアイコン表示します。



公衆トイレ

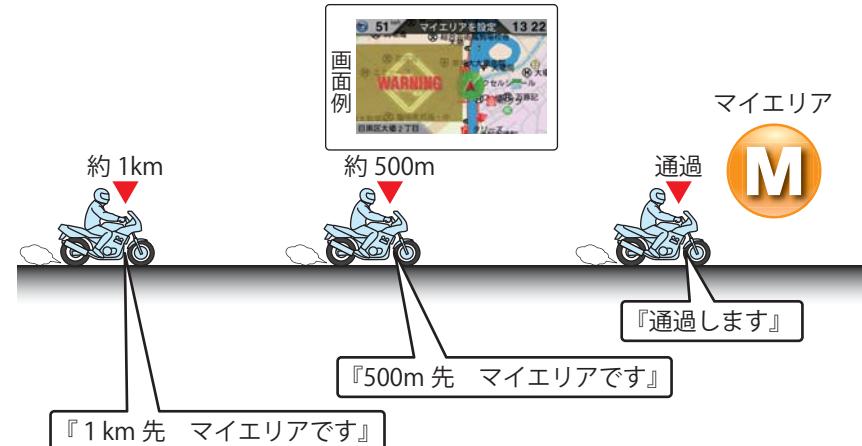
本機に登録されている公衆トイレのアイコンを表示します。



マイエリア

移動オービスがよく出没する地点や、新たに設置されたオービスポイントなどをマイエリアとして自由に登録できます。

マイエリアの設定・設定解除方法については、「マイエリアの設定・解除(●66ページ)」をお読みください。



各種無線電波について

つづく

無線発信源の位置を表示することはできません



無線の受信を警報する画面は、無線を受信したことを表示しています。発信源の位置や距離については表示されません。本機の近くで取締りに関係する無線が発信されていることを警報します。

カーロケ無線(カーロケーターシステム)



『カーロケ近接受信です』
『カーロケ遠方受信です』

『カーロケ圏外です』

※この表示の後、実写画像に
変わります。

カーロケ無線の発信元が遠ざかった
可能性が高いとき

- カーロケーターシステム搭載車であっても、カーロケ無線が使用されていない場合は、受信できないことがあります。
- カーロケーターシステムは全国的に新システムへと移行しています。現在は受信できる地域でも、新システム移行後は受信できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。新システムに移行した地域では、カーロケ無線の警報ができません。
- 受信のタイミングによっては、実際の移動局の接近と警報にズレが生じる場合があります。



カーロケーターシステム

「無線自動車動態表示システム」のこと、警察の通信司令本部がパトカーなどの移動局の現在位置をリアルタイムで地図上に表示し、把握するためのシステムです。カーロケーターシステムを搭載した移動局は、GPSによる緯度・経度情報をデジタル化し、それを407.7MHz帯の周波数でデータ伝送しています。

本機は、それを受信することにより、移動局が近くにいることを警報します。

取締無線



『取締無線です』

- 無線を使わず、有線で通信が行われる場合があります。
この場合は警報されません。

※この表示の後、実写画像に
変わります。



取締無線

スピード違反やシートベルト着用義務違反の取締現場では、350.1MHzの電波で無線連絡が行われることがあります。これが取締り無線です。本機は、それを受信することにより、近くで取締りが行われていることを警報します。

デジタル無線



※この表示の後、実写画像に
変わります。

『デジタル無線です』



デジタル無線

各都道府県警察本部と移動端末間で交信するためのもので、移動端末から各都道府県警察本部へ送信する際に、159～160MHz帯の周波数が使われていますので、その電波受信により、移動局が近くにいる可能性が高いことを察知できます。事前に察知することにより、緊急車両の通行の妨げにならないようにするなど、安全走行に役立ちます。

取締特小無線



『特小無線です』



取締特小無線

スピード違反の取締りや、シートベルト着用義務違反の取締り現場では、取締無線(350.1MHz)の他に、特定小電力無線が用いられる場合があります。

署活系無線



『署活系無線です』



署活系無線

パトロール中の警察官が警察本部や他の警察官との連絡用として使われる無線が署活系無線です。

警察電話



『警察電話です』



警察電話

移動警察電話(移動警電)ともいい、警察専用の自動車携帯電話システムのことです。

各種無線電波について

警察活動無線



『警察活動無線です』



警察活動無線

主に機動隊の連絡用無線で、行事などの警備用として、限られた範囲で使用されている無線です。

レッカーワーク無線



『レッカーワーク無線です』



レッカーワーク無線

主に関東／東海／阪神の一部地域で、レッカーワーク業者が駐車違反や事故処理のときに、連絡用として簡易業務用無線を使用しています。

ヘリテレ無線



『ヘリテレ無線です』



ヘリテレ無線

「ヘリコプター画像伝送システム連絡用無線」の略称で、ヘリコプターを使って事件や事故処理、または取締りを行うときなどに地上との連絡用として使われる無線がヘリテレ無線です。

消防ヘリテレ無線



『消防ヘリテレ無線です』



消防ヘリテレ無線

ヘリコプターを使った火事の事故処理、または火事現場との連絡用として使われる無線が消防ヘリテレ無線です。

消防無線



『消防無線です』



消防無線

災害・救助活動で使用する消防用署活系無線(携帯用400MHz帯)です。

新救急無線



『救急無線です』



新救急無線

救急車と消防本部の連絡用として使われる無線のうち、首都圏の特定の地域で使われているのが新救急無線です。

高速道路無線



『高速道路無線です』



高速道路無線

NEXCO東日本、NEXCO中日本、NEXCO西日本の業務連絡用無線で、主に渋滞や工事・事故情報などでパトロール車両と本部との連絡に使用されています。

警備無線



『警備無線です』



警備無線

主に警備会社が使用する無線です。

警告させたい地点を登録する（マイエリア登録）

移動オービスがよく出没する地点や、新たに設置されたオービスポイントなどを登録でき、2回目以降通過時に警告させることができます。[マイエリア]

- 登録数は、マイエリア、インテリジェントキャンセル（➡79ページ）、マイキャンセルエリア（➡67ページ）の合計で10,000カ所まで可能です。10,000カ所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。

マイエリアを登録する

- ① 登録したい地点で [AREA] ボタンをタッチします。



- ② 再度、[AREA] ボタンをタッチします。

『マイエリアをセットしました』とお知らせします。

〈GPSを受信できず、マイエリア登録できなかつたとき…〉

『GPSをサーチ中です』とお知らせしたあとに、『GPSを受信できません』とお知らせします。

マイエリア登録したエリアに近づくと…

手前約1km／500m／通過中の3段階で警告します。

〈手前約1km(500m)のとき…〉

『右(左)方向 1km(500m)先 マイエリアです』とお知らせします。

〈通過中…〉

『通過します』とお知らせします。

- GPS測位状況や走行ルートによって、距離の告知（『1km先』、『500m先』）を『この先』や『300m先／200m先／100m先／すぐ先』とお知らせすることができます。

登録したマイエリアを解除する

- ① マイエリア登録されているエリアで、[AREA] ボタンをタッチします。



- ② 再度、[AREA] ボタンをタッチします。

『マイエリアを解除しました』とお知らせします。

- すべてのマイエリアを解除（消去）したい場合は、「データ消去」（➡71ページ）を参照ください。

レーダー警報をキャンセルしたい地点を登録する（マイキャンセルエリア登録）

自動ドアなど、取締り機が設置されていないにもかかわらずレーダー波の受信警報がよく鳴る地点を登録することができ、通過時にレーダー波の受信警報をキャンセルします。[マイキャンセルエリア]

- 登録数は、マイキャンセルエリア、マイエリア（➡66ページ）、インテリジェントキャンセル（➡79ページ）の合計で10,000カ所まで可能です。10,000カ所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。
- マイキャンセルエリアは、レーダー波の受信警報をキャンセルするもので、警報ボイス（➡43ページ）や無線14バンド識別（➡40ページ）・ベストパートナー6識別（➡41ページ）の警報はキャンセルできません。

マイキャンセルエリアを登録する

- ① 登録したい地点で [CANCEL] ボタンをタッチします。



- ② 再度、[CANCEL] ボタンをタッチします。

『マイキャンセルエリアにセットしました』とお知らせします。

〈GPSを受信できず、マイキャンセルエリア登録できなかつたとき…〉

『GPSをサーチ中です』とお知らせしたあとに、『GPSを受信できません』とお知らせします。

登録したマイキャンセルエリアを解除する

- ① マイキャンセルエリア登録されているエリアで、[CANCEL] ボタンをタッチします。



- ② 再度、[CANCEL] ボタンをタッチします。

『マイキャンセルエリアを解除しました』とお知らせします。

- すべてのマイキャンセルエリアを解除（消去）したい場合は、「データ消去」（➡71ページ）を参照ください。

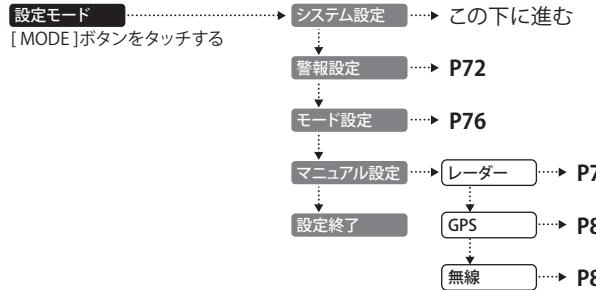
登録したマイキャンセルエリアに進入すると…

登録したキャンセルエリアのポイントから半径約200mのエリアに進入し、レーダー波を受信するとレーダー警報音をキャンセルします。

- 「キャンセルサウンド」（➡79ページ）の設定がONの場合は、『キャンセル中です』とお知らせします。

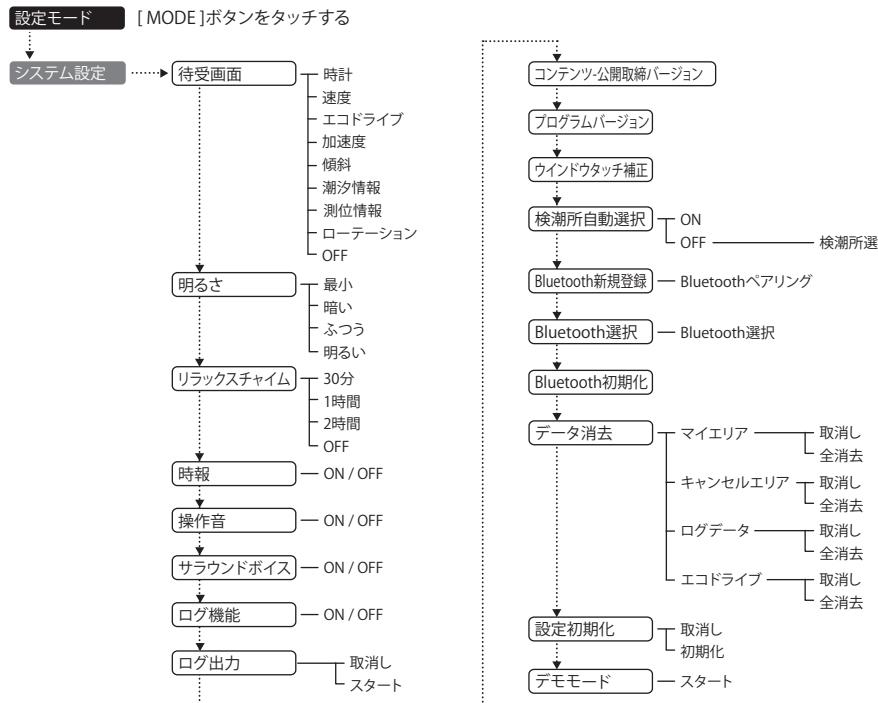
設定メニュー

待受画面でモード [MODE] ボタンをタッチすると設定モードメニューが表示されます。変更したい項目で [AREA] ボタンをタッチすると、各種設定が細かく変更できます。



システムの設定

設定メニュー



設定項目の詳細説明

〈待受画面〉

警報待受時の画面表示を「時計」「速度」「エコドライブ」「加速度」「傾斜」「潮汐情報」「測位情報」「ローテーション」「OFF」の中から選択することができます。各画面の詳細については、「待受画面」(●30ページ)を参照してください。

- 日付および時刻は、GPS測位により自動的に設定され、日付や時刻合わせの操作は不要です。(測位状況により日付や時刻が合わないことがあります。)
- 走行速度の表示は、GPS測位状況によって、実際とは異なる場合がありますので、目安としてお考えください。
- 測位情報は衛星数、衛星ナンバー、受信レベルを表示します。
- ローテーションは、「時計」「速度」「エコドライブ」「加速度」「傾斜」「潮汐情報」「測位情報」が1分間隔で切り替わります。
- 「OFF」に設定すると待受画面は表示されませんが、GPSターゲットやレーダー波などの各種警報(音や表示)は行われます。
- 表示切替距離(●73ページ)の設定で、「レーダー画面固定」を選択すると、常にフルマップレーダースコープ画面を表示します。
- 初期設定は「時計」に設定されています。
- [FUNC]ボタンをタッチ、または画面タッチで、簡単に待受画面を変更することができます。

〈明るさ〉

画面表示の明るさを「最小」「暗い」「ふつう」「明るい」の4段階で切り替えることができます。

- 初期設定は「ふつう」に設定されています。

〈リラックスチャイム〉

安全運転をしていただくために、休憩を促す機能です。電源ON後、設定時間が経過するたびに『長時間運転しています 休憩しませんか?』とお知らせします。

- 「30分」「1時間」「2時間」「OFF」の中から選択できます。
- 初期設定は「2時間」に設定されています。

〈時報〉

「ON」に設定すると、毎時、正時に時刻をお知らせします。
「午前(午後)○○時です」

- 初期設定は「ON」に設定されています。

〈操作音〉

「ON」に設定すると、ボタン操作時の確認音が出ます。

- 初期設定は「ON」に設定されています。

〈サラウンドボイス〉

「ON」に設定すると、臨場感のあるボイスでお知らせします。

- 初期設定は「ON」に設定されています。

〈ログ機能〉

「ON」に設定すると、約20時間分の走行データを記録することができます。（☞83ページ）

- 初期設定は「OFF」に設定されています。

〈ログ出力〉

ログ機能で記録した走行データを付属品（レーダー探知機に装着済み）のmicroSDカードにコピーします。

- スタートを選択するとコピーを開始します。

〈コンテンツ公開取締バージョン〉

登録されているGPSデータ情報、公開取締情報が表示されます。

〈プログラムバージョン〉

ソフトウェアのバージョンなどが表示されます。

〈ウインドウタッチ補正〉

タッチパネルの補正を行います。

〈検潮所自動選択〉

検潮所自動選択をONにすると、GPS測位によって得られた現在地近辺の情報を表示します。

OFFにすると、全国の登録された地点から選択することができます。

- 初期設定は「ON」に設定されています。

全国登録地点（以下より選択可能）

・稚内	・相馬	・横須賀	・豊橋港	・大阪	・土佐清水	・油津
・網走	・小名浜	・大島（岡田）	・形原	・神戸	・宇和島	・大泊
・花咲	・深浦	・江ノ島	・名古屋	・洲本	・松山	・鹿児島
・釧路	・秋田	・下田	・鬼崎	・富山	・境	・枕崎
・小樽	・酒田	・石廊崎	・衣浦	・能登	・西郷	・対馬
・苫小牧西	・栗島	・内浦	・師崎	・三国	・浜田	・福江
・函館	・新潟西港	・清水港	・鳥羽	・舞鶴	・徳山	・種子島
・下北	・佐渡	・御前崎	・尾鷲	・宇野	・下関	・奄美大島
・竜飛	・大洗	・神津島	・熊野	・吳	・博多	・那覇
・八戸	・銚子漁港	・三宅島	・浦神	・広島	・佐世保	・南大東島
・宮古	・勝浦	・八丈島	・串本	・高松	・大浦	・石垣島
・釜石	・布良	・父島	・白浜	・小松島	・長崎	・与那国島
・大船渡	・千葉	・南鳥島	・御坊	・阿波由岐	・口之津	
・鮎川	・晴海	・舞阪	・和歌山	・室戸岬	・三角	
・仙台新港	・芝浦	・赤羽根	・淡輪	・高知	・大分	

〈Bluetooth新規登録〉

Bluetooth機器を登録します。

〈Bluetooth選択〉

登録されたBluetooth機器から接続する機器を選択します。

〈Bluetooth初期化〉

登録したBluetooth機器が接続できない場合に初期化を行います。

〈データ消去〉

「マイエリア」「キャンセルエリア（インテリジェントキャンセル・マイキャンセルエリア）」「ログデータ」「エコドライブ」のデータを消去することができます。

- 消去したい項目（マイエリア、キャンセルエリア、ログデータ、エコドライブ）を選び、「全消去」を選択・決定するとデータが消去されます。
- いったん消去すると、元に戻せませんのでご注意ください。
- 本機に登録されているオービス等のGPSデータが消去されることはありません。

〈設定初期化〉

「初期化」を選択・決定すると、すべての設定項目をお買い上げ時の状態にリセットします。

- いったん初期化すると、元には戻せませんのでご注意ください。
- 本機に登録されているオービス等のGPSデータが消去されることはありません。

〈デモモード〉

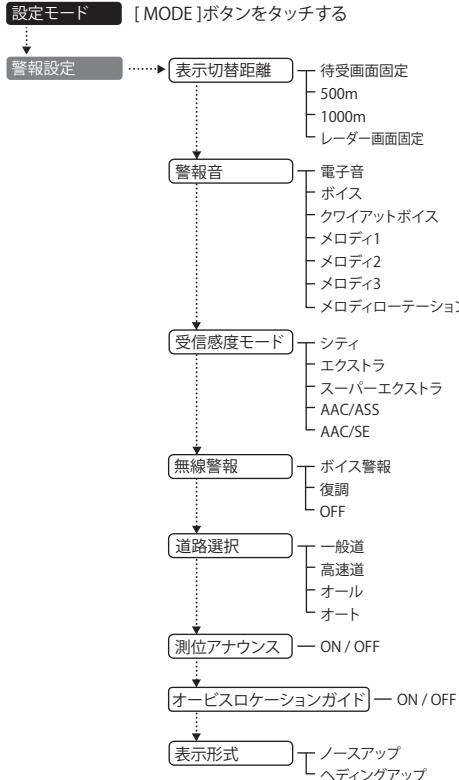
レーダー受信やGPS警報などの音声や画面表示を実演できます。

- スタートを選択するとデモモードが始まります。
- デモモード中にボタン操作するとデモモードは終了します。

警報設定

設定メニューにそって、警報設定の各種設定変更ができます。

設定メニュー



設定項目の詳細説明

〈表示切替距離〉

待受画面からフルマップレーダースコープ画面に切り替わる距離を選択できます。

- ・待受画面固定を選択した場合、待受画面のままフルマップレーダースコープ画面に切り替わりません。
- ・レーダー画面固定を選択した場合は、常にフルマップレーダースコープ画面を表示します。
- ・初期設定は「1,000m」に設定されています。

〈警報音〉

レーダー波受信時の警報音を選択できます。

- ・初期値は「メロディ1」に設定されています。

選択項目	警報のしかた
電子音	『ピッピッピッ…』という電子音で警報します。
ボイス	♪効果音のあとに、『スピード注意』とボイスで警報します。
クワイアットボイス	♪効果音のあとに、『レーダーです』と約10秒に1回ボイスで警報します。
メロディ1	オリジナルメロディ パターン1(メロディ1)で警報します。
メロディ2	オリジナルメロディ パターン2(メロディ2)で警報します。
メロディ3	オリジナルメロディ パターン3(メロディ3)で警報します。
メロディローテーション	レーダー波を受信するごとに、3曲のメロディアラーム(メロディ1→メロディ2→メロディ3の順)で警報します。

〈受信感度モード〉

レーダー受信感度を選択できます。

- ・受信感度が高いほど遠くの電波を受信できますが、取締りレーダー波と同じ他の電波も受信してしまいます。走行環境や条件に合わせて、受信感度をお選びください。
- ・初期設定は「AAC/ASS」に設定されています。

「シティ」・「エクストラ」・「スーパー エクストラ」

受信感度		走行環境や条件
高い ↑	スーパー エクストラ	高速道路
	エクストラ	郊外や高速道路
低い	シティ	市街地

「AAC/ASS」

GPS測位機能により、AAC/不要警報カットやASS/最適感度選択がはたらきます。

● AAC/不要警報カット

走行速度が時速30km未満は、レーダー波の受信警報をカットします。停車中や低速走行中に自動ドアなどの電波を受信しても、誤警報することはありません。

● ASS/最適感度選択

走行速度に合わせて、最適な受信感度を自動的に選択します。

[AAC/ASSの動作]

走行速度	受信感度	警報状態
0km～29km		警報しない
30km～39km	シティ	警報する
40km～79km	エクストラ	
80km～	スーパーイエクストラ	

- 電源ON後、GPS測位するまでの間は、スーパーイエクストラになります。
- 走行中にGPS測位ができなくなると、常に「警報する」状態になり、時間経過でスーパーイエクストラに変化します。

「AAC/SE」

走行速度が時速30km未満は、レーダー波の受信警報をカット(AAC)し、時速30km以上は、受信感度がスーパーイエクストラに固定されます。

[AAC/SEの動作]

走行速度	受信感度	警報状態
0km～29km		警報しない
30km～	スーパーイエクストラ	警報する

- GPS測位できない状態では、走行速度に関係なくスーパーイエクストラに固定されます。

〈無線警報〉

各種無線の警報を「ボイス警報」「復調」「OFF」の中から選択することができます。

- 「OFF」に設定すると、すべての無線警報を行いませんのでご注意ください。
- 初期設定は「ボイス警報」に設定されています。

「ボイス警報」設定のとき

- 各無線を受信すると、ボイスが1フレーズ鳴ります。
- 30秒以内に同じ無線を受信した場合は、ボイスのお知らせはありません。
- ボイスが鳴っているときに、取締りレーダー波を受信した場合、レーダー警報が優先されます。

「復調」設定のとき

- 各無線を受信すると、受信した音声を聞くことができ、受信終了後に無線ジャンルをボイスでお知らせします。
- 30秒以内に同じ無線ジャンルを受信した場合は、ボイスによるお知らせを行わず、受信した音声のみ聞こえます。
- デジタル方式やデジタル信号での通信は、受信しても内容はわかりません。
- 各無線交信は、数秒間で終わることが多いため、交信内容を完全に聞き取ることができない場合もあります。
- 各無線を音声受信している場合に、取締りレーダー波を受信すると、両方の音が重なって聞こえます。
- カーロケ無線(☞62ページ)とベストパートナー6識別(☞41ページ)は、復調を行わず、ボイスによるお知らせのみとなります。

〈道路選択〉

GPS警報する道路を「一般道」「高速道」「オール」「オート」から選択することができます。

- GPS52識別警報のハイウェイオアシスは、「一般道」に設定された場合もGPS告知されます。
- 初期設定は「オート」に設定されています。

一般道	一般道のターゲットのみ警報します。
高速道	高速道のターゲットのみ警報します。
オール	一般道および高速道のすべてのターゲットを警報します。
オート	<p>走行道路(一般道か高速道)を自動的に識別します。 一般道と識別できたときは一般道のターゲットのみ警報し、高速道と識別できたときは高速道のターゲットのみ警報します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般道と高速道が並行していたり交差している場合などで走行道路の識別が困難な状況では、一般道／高速道の両方のターゲットを表示・警報することがあります。 GPS測位が困難な状況では、正しく識別できない場合があります。 高速道を走行している時間が短い場合は、高速道に識別されないことがあります。 渋滞等により高速道で低速走行もしくは停車している場合は、高速道に識別されません。

〈測位アンテナ〉

「測位アンテナ」のON/OFFができます。

ビルの谷間などGPSの電波の受信状態が良くない場合、『GPSを受信できません』『GPSを受信しました』と測位アンテナをくり返すことがあります。

- 「OFF」に設定すると、測位アンテナを停止することができます。
- 初期設定は「ON」に設定されています。

〈オービスロケーションガイド〉

「オービスロケーションガイド」のON/OFFができます。

オービスの手前500mで目標物(交差点・バス停・陸橋・高速のキロポスト)と、オービスの種類などのアンテナをより安全でわかりやすく行います。

- 初期設定は「ON」に設定されています。

〈表示形式〉

フルマップレーダースコープ画面の向きをノースアップ(常に北が上になるような表示)とヘディングアップ(常にバイクの進行方向が上になるような表示)に切り替えることができます。

- 初期設定は「ヘディングアップ」に設定されています。

カスタマイズ（モード設定）

つづく

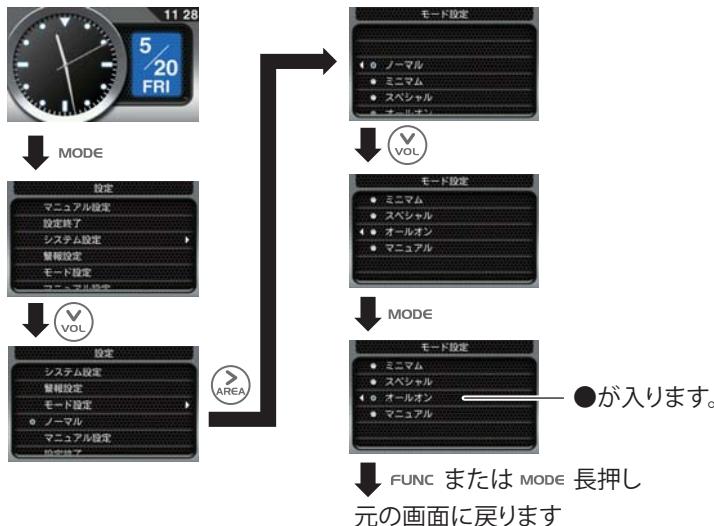
基本的な使い方(●28~29ページ)で説明したオールオンモードは、すべての機能を使って警報や各種画面を表示させることができます。この章では特定の機能をOFFにし、機能のカスタマイズを行う手順をご説明します。

お好みモード選択

本機には、カスタマイズを行うためのプリセットが4種類(「ノーマルモード」、「ミニマムモード」、「スペシャルモード」、「オールオンモード」と、好みによりすべての機能を個別に設定できる「マニュアルモード」が用意されています。初期設定は「ノーマルモード」に設定されています。

ノーマルモード	バランスを重視したモードです。
ミニマムモード	レーダー、無線、GPS すべてにおいて、最低限の項目だけを ON に設定します。
スペシャルモード	取締りに関する項目を重視した内容に設定されています。
オールオンモード	すべての機能を ON に設定します。
マニュアルモード	すべての機能を個別に OFF に設定できます。

モードの変更方法



●レーダーの設定

	画面表示	ノーマル モード	ミニマム モード	スペシャル モード	オールオン モード	マニュアル モード	詳細説明 ページ
		以下の内容で設定されており、変更はできません。				設定内容を 変更できます。	
I キャンセル		ON	ON	OFF	ON	ON	79
I キャンセルサウンド		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	79
反対キャンセル		ON	ON	OFF	ON	ON	79

●GPSの設定

	アイコン	ノーマル モード	ミニマム モード	スペシャル モード	オールオン モード	マニュアル モード	詳細説明 ページ
		以下の内容で設定されており、変更はできません。				設定内容を 変更できます。	
オービス		ON	ON	ON	ON	ON	43
直前速度告知		ON	ON	ON	ON	ON	45
通過告知		ON	ON	ON	ON	ON	45
制限速度告知		ON	ON	ON	ON	ON	46
カメラ位置告知		ON	ON	ON	ON	ON	46
制限速度切替告知		ON	ON	ON	ON	ON	47
速度超過告知		ON	ON	ON	ON	ON	47
取締エリア		レベル3 以上	OFF	全て	全て	レベル3 以上	48
検問エリア		レベル3 以上	OFF	全て	全て	レベル3 以上	49
交差点監視ポイント		OFF	OFF	ON	ON	OFF	50
信号無視抑止システム		OFF	OFF	ON	ON	OFF	50
高道路交通警察隊		ON	OFF	ON	ON	ON	50
駐禁監視エリア		ON	OFF	ON	ON	ON	51
一時停止注意ポイント		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	51
Nシステム		OFF	OFF	ON	ON	ON	52
交通監視システム		OFF	OFF	ON	ON	ON	52
警察署		OFF	OFF	ON	ON	OFF	53
交番		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	53
事故多発エリア		OFF	OFF	ON	ON	OFF	53
車上狙い多発エリア		OFF	OFF	ON	ON	OFF	54
急カーブ		OFF	OFF	ON	ON	OFF	54
分岐合流ポイント		OFF	OFF	ON	ON	OFF	55
踏切		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	54
ETCレーン		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	55

カスタマイズ (モード設定)

	アイコン	ノーマル モード	ミニマム モード	スペシャル モード	オールオン モード	マニュアル モード	詳細説明 ページ 以下の内容で設定されており、変更はできません。
		設定内容を 変更できます。					
サービスエリア	SA	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	56
パーキングエリア	PA	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	56
ハイウェイオアシス	GA	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	56
スマートIC	SA PA Q	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	57
ガソリンスタンド	SA PA Q	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	57
トンネル	T	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	58
ハイウェイラジオ	HR	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	58
県境		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	59
道の駅	DA	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	59
ピューポイントパーキング	PP	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	59
駐車場	P	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	60
消防署	F	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	60
公衆トイレ	WC	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	60

●無線の設定

	画面表示	ノーマル モード	ミニマム モード	スペシャル モード	オールオン モード	マニュアル モード	詳細説明 ページ 以下の内容で設定されており、変更はできません。
		設定内容を 変更できます。					
受信感度		LO	LO	HI	HI	LO	-
カーロケ無線	カーロケ無線	ON	ON	ON	ON	ON	62
取締無線	取締無線	ON	ON	ON	ON	ON	62
デジタル無線	デジタル無線	ON	OFF	ON	ON	ON	63
取締特小無線	特小無線	OFF	OFF	ON	ON	OFF	63
署活系無線	署活系無線	OFF	OFF	ON	ON	OFF	63
警察電話	警察電話	OFF	OFF	ON	ON	OFF	63
警察活動無線	警察活動無線	OFF	OFF	ON	ON	OFF	64
レッカー無線	レッカー無線	OFF	OFF	ON	ON	OFF	64
ヘリテレ無線	ヘリテレ無線	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	64
消防ヘリテレ無線	消防ヘリテレ無線	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	64
消防無線	消防無線	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	65
新救急無線	新救急無線	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	65
高速道路無線	高速道路無線	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	65
警備無線	警備無線	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	65

カスタマイズ (レーダー設定)

レーダー設定

設定メニューにそって、レーダーの各種設定変更ができます。

- ・「お好みモード選択機能の設定」(→76ページ)でマニュアルモードを選択した場合に設定内容が適応されます。

設定メニュー



設定項目の詳細説明

〈アイ(I)キャンセル〉(インテリジェントキャンセル) [特許 第3902553号、第4163158号]

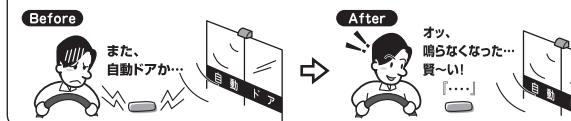
自動ドアなどで誤警報する場所を通過した際、GPSの位置情報を自動で登録し、2回目以降通過時に電波を受信した場合、レーダー警報をキャンセルします。

登録数は、インテリジェントキャンセル、マイエリア(→66ページ)、マイキャンセルエリア(→67ページ)の合計で10,000カ所まで可能です。

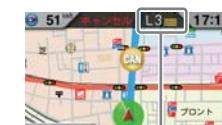
10,000カ所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。

インテリジェントキャンセルのしくみ

- ① 取締りレーダー波と同じ電波を受信すると警報。[1回目]
- ② 取締りレーダー波かどうかを識別。
- ③ 誤警報と思われる場合、「誤警報エリア」として自動登録。
- ④ 同じ地点で電波を受信しても警報をキャンセル。[2回目以降]



・キャンセル中の画面



レーダー波の受信レベル

- GPS測位していないときや誤警報エリアの状況によっては、誤警報がキャンセルされない場合があります。
- キャンセルされないエリアでは、マイキャンセルを合わせてご利用ください。
- 「Iキャンセル」を「OFF」に設定すると、インテリジェントキャンセル機能を停止させることができます。
- 自動登録したエリアは、「Iキャンセル」の設定や電源をOFFにしても記憶されています。
- 登録されたエリアをすべて消去したい場合は、「データ消去」(→71ページ)をご覧ください。

アイ(I)キャンセルサウンド (インテリジェントキャンセルサウンド)

〈反対キヤンセル〉
(反対車線オービスキャンセル機能)

インテリジェントキャンセル中、マイキャンセル中に、『キヤンセル中です』と10秒に1回音声を発する機能です。



反対車線オービスキャンセル中の画面

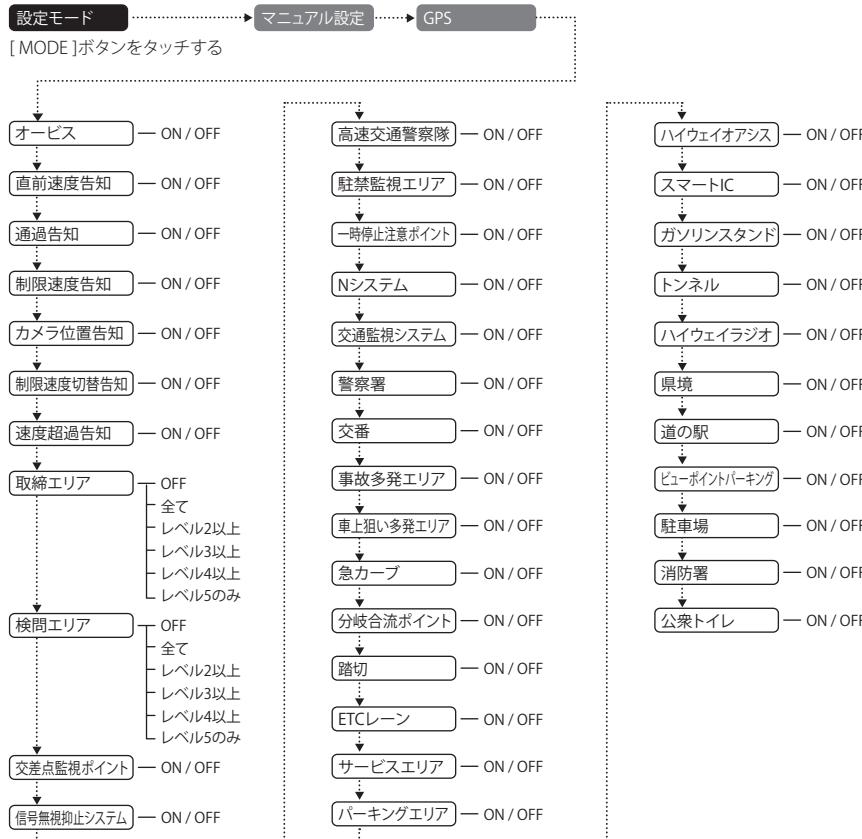
カスタマイズ (GPS設定)

GPS設定

設定メニューにそって、GPSの各種設定変更ができます。

- ・「お好みモード選択機能の設定」(☞76ページ)でマニュアルモードを選択した場合に設定内容が適応されます。

設定メニュー



設定項目の詳細説明は「警報ボイスについて」(☞43ページ)をご覧ください。

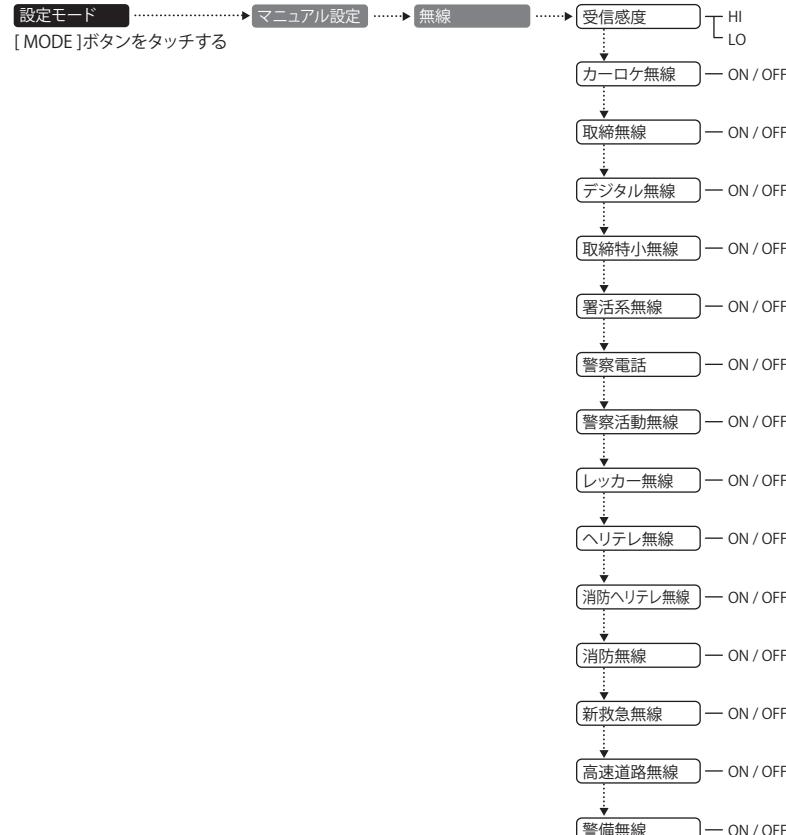
カスタマイズ (無線設定)

無線設定

設定メニューにそって、無線の各種設定変更ができます。

- ・「お好みモード選択機能の設定」(☞76ページ)でマニュアルモードを選択した場合に設定内容が適応されます。

設定メニュー



設定項目の詳細説明は「各種無線電波について」(☞62ページ)をご覧ください。

今すぐ地図表示サービス(無料)

レーダー探知機に表示させたQRコードをバーコードリーダー機能付携帯電話で読み取ると、携帯電話に周辺の地図を表示します。

- 通信料は有料ですので、お客様のご負担となります。
- バーコードリーダー機能付携帯電話で、インターネットを利用できる環境であることが条件となります。
- 一部の携帯電話では、QRコードの読み取りや地図データを表示できない場合があります。

●今すぐ地図表示サービスの流れ

- ① レーダー探知機の[FUNC]ボタンを長押し(約1秒)してQRコードを表示させる。
↓
- ② バーコードリーダー機能付携帯電話でQRコードを読み取り送信する。
↓
- 携帯電話に周辺の地図や情報が表示されます。

地図閲覧サービス(無料)

携帯電話やパソコンで専用サイトにアクセスし、緯度・経度や郵便番号、住所を入力すると、周辺の地図を表示します。

- 通信料は有料ですので、お客様のご負担となります。
- インターネットが利用できるパソコンが条件となります。
- 一部の携帯電話では、地図データを表示できない場合があります。

●地図閲覧サービスの流れ

- ① 携帯電話専用サイトにアクセスする。
<http://www.yupiteru-itymap.com/>

- ② レーダー探知機の[FUNC]ボタンを長押し(約1秒)して緯度(N)・経度(E)を表示させる。
↓
- ③ 携帯電話に緯度(N)・経度(E)を入力する。
↓
- 携帯電話に周辺の地図や情報が表示されます。

●PC専用サイト

<http://www.yupiteru-itymap.com/pc/>

詳しくは、弊社ホームページ「ity. MAPサービス」(<http://www.yupiteru.co.jp/map/itymap.html>)をご覗ください。

※ 今すぐ地図表示サービス、地図閲覧サービスで使用している地図の著作権は、株式会社昭文社に帰属されます。地図データの編集・加工による二次使用は、禁じております。

ログ機能 [特許 第4718569号]

ログ機能をONに設定すると、走行データ(最大約20時間分)をレーダー探知機に記録します。記録したデータは、付属品(レーダー探知機に装着済み)のmicroSDカードにコピーし、パソコンで走行軌跡を確認することができます。

パソコンで走行軌跡を確認するには以下の環境や条件が必要になります。

※下記以外のパソコン環境や地図ソフト、市販のデータロガーでの動作確認は行っておりません。
※走行軌跡はパソコン上の地図や地形とずれることがあります。

● 下記の条件を満たしたインターネットに接続可能なパソコン。

- OS
 - Microsoft Windows 7 (32bit版/64bit版)
 - Microsoft Windows Vista (32bit版/64bit版)
 - Microsoft Windows XP (32bit版)※
 - Microsoft Windows 2000
※64bit版は、未対応となります。
 - .NET Framework2.0以上がインストールされていること。.NET Framework2.0以上がインストールされていない場合は、Microsoft社のホームページよりダウンロードしてください。

● ご用意いただくもの。

- microSDカードリーダー(2GB対応のもの)
- SDカードリーダーやパソコンのSDカードスロットを使用する場合は、SDカード変換アダプターが必要となります。
- GoogleよりGoogle Earthをダウンロードしてください。
- 弊社ホームページ(<http://www.yupiteru.co.jp>)をご参照の上、オリジナルログデータ変換ソフト(YP_LogDataConvert.exe)をダウンロードしてください。

1. ログ機能をONにする

ログ機能をONに設定(☞70ページ)すると走行データが記録されます。

- 非測位時、時速10km未満の場合は記録されません。
- 走行データは、レーダー画面の右上にパーセント表示されます。(待受画面では表示されません)



- 記録容量が100%になった場合は、自動的にログ機能をOFFにし、100%の表示を残します。
- 記録容量が100%になっている場合は、ログ機能をONにすることはできません。
- ログ機能ON中は常に走行データを記録します。日時別の保存や管理は行っておりません。
- 記録容量が100%になり、ログ機能がOFFになってしまっても、データ消去(☞71ページ)を行なうまで、100%の表示は残ります。
- 走行記録を消去する場合は、データ消去(☞71ページ)を行ってください。また必要に応じ、事前に下記の手順でmicroSDカードにコピーを行ってください。

2. 走行データをmicroSDカードにコピーする

レーダー探知機の表示部を見ながらボタン操作を行ってください。

- [MODE]ボタンをタッチし、「設定モード」にする。
- 「システム設定」の項目を[上/VOL][下/VOL]ボタンで選択し、モードボタンをタッチする。
- 「ログ出力」の項目を[上/VOL][下/VOL]ボタンで選択し、モードボタンをタッチする。
- 「スタート」の項目を[上/VOL][下/VOL]ボタンで選択し、モードボタンをタッチする。



- microSDカードへコピーを行ったあとも、走行データを記憶しています。走行データを消去する場合は、設定メニューより、ログデータの消去(全消去)を行ってください。(☞71ページ)

3. パソコンで走行軌跡を確認する

- 走行データをコピーしたmicroSDカードをパソコンに接続する。
- YP_LogDataConvert.exe(ユピテルログデータコンバート)を起動する。
パソコン画面上の「開く」ボタンをクリックし、microSDカードの走行データ(*.Log)を選択する。

③「変換」ボタンをクリックし、お好みのファイル名と保存先を指定し、保存する。

④保存したファイルを開くと、Google Earthの画面上に走行軌跡が表示されます。

※走行軌跡はパソコン上の地図や地形と必ずしも一致しません。ズレて表示されることがありますのでご了承ください。

- 走行軌跡の確認後は、microSDカードをレーダー探知機に装着してご使用ください。(☞23ページ)

- 必要に応じ、microSDカード内にコピーした走行データ(*.Log)を削除する場合は、GPS更新データ(pictureのフォルダ等)を削除しないようにご注意ください。

ity.データ更新サービス

パソコンでのダウンロード、microSDカードをお送りするお届けプラン、本体お預かり更新サービスでGPSターゲットデータの更新を行っていただけます。

※地図更新は、microSDカードをお送りするお届けプランのみ対応になります。

各種更新サービスについての詳細は下記ホームページを参照ください。

<http://www.yupiteru.co.jp/gps/index.html>

パソコンでのダウンロード、microSDカードをお送りするお届けプランをご利用の際には、ity.クラブにご入会ください。入会手続きは下記ホームページから行っていただけます。

◆ity.クラブホームページアドレス

<http://www.yupiteru.co.jp/ityclub/index.html>

電話でのお問い合わせは下記フリーコールにお願いします。

◆ユピテルity.クラブ窓口

受付時間 9:00 ~ 17:00 月曜日～金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

 0120-998-036

本機お預かり更新サービスをご要望される場合は、お買い上げの販売店、または、お客様ご相談センターにご依頼ください。(☞91ページ)

修理をご依頼になる前に、もう1度次のことをご確認ください。それでも異常や故障と思われるときは、お買い上げの販売店、または弊社ご相談窓口にご相談ください。

症 状	チェック項目
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> 電源スイッチがONになっていますか。(☞15ページ) 電源直結コードがはずれていませんか。 電源直結コード内部のヒューズが切れていないか確認してください。切れている場合は、同じ容量(1A)の新しいヒューズと交換してください。 付属品のmicroSDカードを装着していますか。または、抜けかけていませんか。本機は付属品のmicroSDカードが入っていないと起動しません。(☞23ページ)
エンジンを止めて、イグニッションをOFFにしても電源が切れない	<ul style="list-style-type: none"> 電源直結コードの電源が、イグニッションのON/OFFと連動して入/切しないバイクがあります。このようなバイクでは、エンジンを止めても、電源直結コードに電源が供給されますので、本機の電源スイッチで電源を切ってください。
レーダー警報しない	<ul style="list-style-type: none"> 電源が入っていましたか。(☞15ページ) 警報機能が正しくはたらきますか。[T/MUTE]をタッチして確認してください。(☞15ページ) 取締りレーダー波が発射されていましたか。計測する瞬間だけ電波を発射するステルス型など、取締り準備中あるいは終了後などで、スピード測定装置から取締りレーダー波が発射されていないことがあります。 マイキャンセル登録したエリアではありませんでしたか。(☞67ページ) インテリジェントキャンセルされていませんか。(☞79ページ) 受信感度モードが「AAC/ASS」または「AAC/SE」の場合、時速30km未満のときは警報しません。(☞73ページ) 「マナーモード」になっていませんか。[上/VOL]ボタンをタッチして解除してください。
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> 音量「0」になっていませんか、音量を調節してください。(☞28ページ) スピーカーユニットが外れていませんか、接続を確認してください。(☞18ページ)
地図にズレができる	<ul style="list-style-type: none"> GPS測位していましたか。障害物や遮蔽物の無い視界の良い場所へ移動してください。 マーク・名称が重なって表示されることがあります、故障ではありませんので、ご了承ください。
GPS警報しない	<ul style="list-style-type: none"> GPS測位していましたか。(☞12ページ) 新たに設置されたオービスなどのターゲットではありませんか。

症 状	チェック項目
取締りもしていないのに警報機能がはたらく	<ul style="list-style-type: none"> 取締りレーダー波と同じ電波が他でも使用されています。それらの電波を受信すると警報機能がはたらくことがあります、故障ではありませんので、ご了承ください。 <p>——取締りレーダー波と同じ電波を使用している主な機器——</p> 電波式の自動ドア、防犯センサー／信号機の近くに設置されている車両通過計測機／NTTのマイクロウェーブ通信回線の一部／気象用レーダー、航空レーダーの一部／他のレーダー探知機の一部 まれに他の無線機の影響を受けることがあります。その場合は取り付け位置を変えてみてください。
警報の途中で警報音が小さくなる	<ul style="list-style-type: none"> レーダー波の受信が約30秒以上続くと、警報音が小さくなります。(オートクワイアット)
一般道を走行中に高速道のターゲットをGPS警報する	<ul style="list-style-type: none"> 「道路選択」の設定(☞75ページ)を「オール」でご使用の際は、一般道と高速道の両方のターゲットを警報します。 一般道と高速道が並行していたり、交差している場合などで走行道路の識別が困難な状況では、一般道/高速道の両方のターゲットを表示・警報することができます。 ハイウェイオアシスは、「一般道」に設定された場合もGPS告知されます。
ひんぱんに無線警報する	<ul style="list-style-type: none"> 放送局や無線中継局、携帯電話の基地局などが近くにある場合、強い電波の影響や周囲の状況により、受信状態になることがあります。 また、取り付けたバイクなどから強い電波が放射している場合があります。
取締り現場なのに350.1MHzを受信しない	<ul style="list-style-type: none"> 「取締無線」を「ON」に設定していましたか。(☞74ページ) 取締り現場での連絡が無線方式で行われていましたか。連絡には350.1MHzの電波を使った無線方式の他に、有線方式の場合もあります。
誤警報がキャンセルされない	<ul style="list-style-type: none"> 「アイ(1)キャンセル」(インテリジェントキャンセル)の設定は「ON」になっていましたか。(☞79ページ) スペシャルモードになつていませんか。スペシャルモードは、「インテリジェントキャンセル」の設定を「ON」にすることできません。(☞76ページ) GPS測位していましたか。(☞12ページ) 新Hシステムやレーダー式オービスが近くにありませんでしたか。 取締エリア、またはマイエリア登録したエリアではありませんか。
何も表示しない	<ul style="list-style-type: none"> 「マナーモード」になつていませんか。[上/VOL]ボタンをタッチして解除してください。 「待受画面」の設定が「OFF」ではありませんか。[FUNC]ボタンをタッチして待受画面を変更してください。
画面に%(パーセント)表示される	<ul style="list-style-type: none"> ログ機能をONにすると、走行データの記録状態をパーセント表示(0%~100%)します。(☞70ページ)、(☞83ページ)

故障かな？と思ったら

症 状	チェック項目
速度表示が車両の速度計と異なる	<ul style="list-style-type: none">車両の速度計は、実際より数値が高く表示される(プラス誤差)傾向があります。
測位が遅い。 クイック測位がはたらいていないのでは?	<ul style="list-style-type: none">次の場合、クイック測位は機能しません<ul style="list-style-type: none">最後に本機の電源をOFFにしてから48時間以上経過した場合。最後に本機の電源をOFFにした時と、次に電源をONにした時のGPS衛星の状況が異なる場合。-GPS波を妨害する電波の影響を受ける場所で、本機の電源をONにした場合。

仕様

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

電源電圧	: DC 12V (マイナスアース車専用)	動作温度範囲 : -10°C ~ +60°C
消費電流	: 待機時: 180mA以下(無線OFF時) 最大: 250mA以下	外形寸法 : [本機] 116(W) × 69(H) × 27.5(D) mm
受信方式	: [GPS部] 16チャンネル//パラレル受信方式 [レーダー部] スイープオシレーター式ダブルステップヘテロダイン方式広指向性デュアルレーバンテナ 表示部 : フルカラーMVA液晶ディスプレイ	重量 : [本機] 約195g (microSDカード含む) Bluetooth : 2.1 バージョン Bluetooth : class 2 出力 Bluetooth : 10m (見通し距離) 接続距離
受信周波数	: [GPS部] 1.6GHz帯 [レーダー部] X/バンド/K/バンド [UHF部] 336 ~ 470MHz帯 [VHF部] 154 ~ 163MHz帯	Bluetooth : A2DP 対応プロファイル
防水性能	: 防浸形 IPX7準拠	

※ この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。
なお、本文中ではTMや®などの記号を記載しない場合があります。

取扱説明書は随時更新されます。最新版の取扱説明書は当社ホームページにてご確認ください。
<http://www.yupiteru.co.jp/>

地図データベースについて

MAPPLEデジタル地図データ 2010年8月27日発行

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の1万分の1地形図 2万5千分の1地形図 20万分の1地勢図 100万分の1日本、50万分の1地方図を使用した。(承認番号 平22業使、第24-M049231号 平22業使、第25-M049231号 平22業使、第27-M049231号 平22業使、第28-M049231号)

© 株式会社 昭文社

【データについて】

本地図データ構築にあたっては使用した情報は下記の基準により、調査・取材を行ったものです。

- ・主要道路の開通や主要設備の開設・閉鎖、市町村合併や町名の新設といった重要情報と取材や情報提供によって取得した店舗改廃情報等については、2010年12月29日までに判明した2011年4月1日までに実施される情報に基づいています。
- ・その他の情報については、概ね2010年6月24日から2010年9月30日までに取得した情報に基づいています。

〈ご注意〉

- ・データベース作成時点の関連で、表示される地図が現状と異なることもありますのでご了承ください。
- ・いかなる形式においても著作権者に無断でこのデータの全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。